

# 1. 2020 (R2) 年度 実施状況について

## 1- (1) 旅行実施時期について (当初の予定)

(単位:校数)

出発月	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比
4月	8	3	38	5	6	7	36	12	1	116	12.1%
5月	86	76	125	58	40	37	8	50	54	534	55.6%
6月	71	3	32	8	3	13	8	7	9	154	16.0%
7月		4		2						6	0.6%
8月	1		1	1						3	0.3%
9月	10	3	14	5		2	1	1	7	43	4.5%
10月	1	1	6	2	1	1	5		22	39	4.1%
11月	1	1	1	1	1	1	1		1	8	0.8%
12月	1								1	2	0.2%
1月					1					1	0.1%
2月	1				5		1	1		8	0.8%
3月										0	0.0%
合計	180	91	217	82	57	61	60	71	95	914	95.2%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※未報告分の数値は含まれておりません



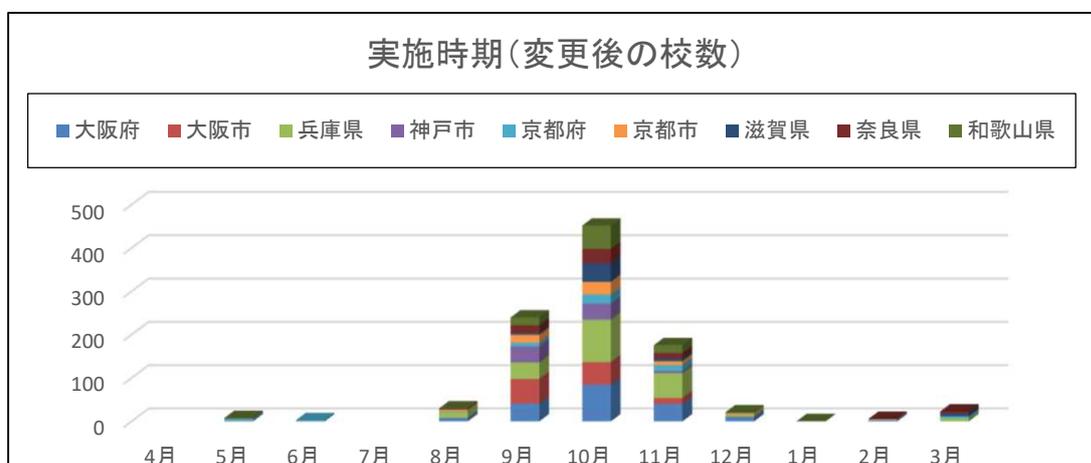
## 1- (1) 旅行実施時期について (変更後の内容)

(単位:校数)

出発月	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比
4月										0	0.0%
5月				1	5			1	1	8	0.8%
6月	2				1					3	0.3%
7月										0	0.0%
8月	8		13		2	4		2	1	30	3.1%
9月	41	57	38	37	9	18	4	18	18	240	25.0%
10月	85	52	98	37	21	29	43	33	54	452	47.1%
11月	40	14	57	5	14	9	7	12	18	176	18.3%
12月	10	1	4		1	3			2	21	2.2%
1月									1	1	0.1%
2月	1	1			2	1		1		6	0.6%
3月			7		5		6	5		23	2.4%
合計	187	125	217	80	60	64	60	72	95	960	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※未報告分の数値は含まれておりません



1- (2) 旅行実施方面について (当初の予定)

(単位:校数)

方面	大阪府:大阪市 兵庫県:神戸市 京都府:京都市 滋賀県 奈良県 和歌山県									総計		昨年度		昨年差異
	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	比率	総数	比率	
北海道	1				1			1		3	0.3%	3	0.3%	0.0%
東北	1						2			3	0.3%	2	0.2%	0.1%
関東・富士・伊豆	11	8	74	26	23	7	33	12	87	281	25.1%	319	27.0%	-1.9%
信州	29	28	12	2	9	2	2	1		85	7.6%	133	11.3%	-3.7%
北陸・信越・東海	13	11	1	2	2	4				33	2.9%	45	3.8%	-0.9%
中国・四国	20	47	2		2		1	1		73	6.5%	100	8.5%	-2.0%
北九州	29	13	52	9	12	7	3	7	2	134	12.0%	191	16.2%	-4.2%
南九州	5	3	9	5				1		23	2.1%	18	1.5%	0.5%
沖縄	69	6	66	36	6	43	19	48	5	298	26.6%	365	30.9%	-4.3%
近畿圏			1		1				1	3	0.3%	3	0.3%	0.0%
その他	63	9	25	3	30	2	24	23	5	184	16.4%	1	0.1%	16.3%
総計	241	125	242	83	86	65	84	94	100	1,120	100.0%	1,180		

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません



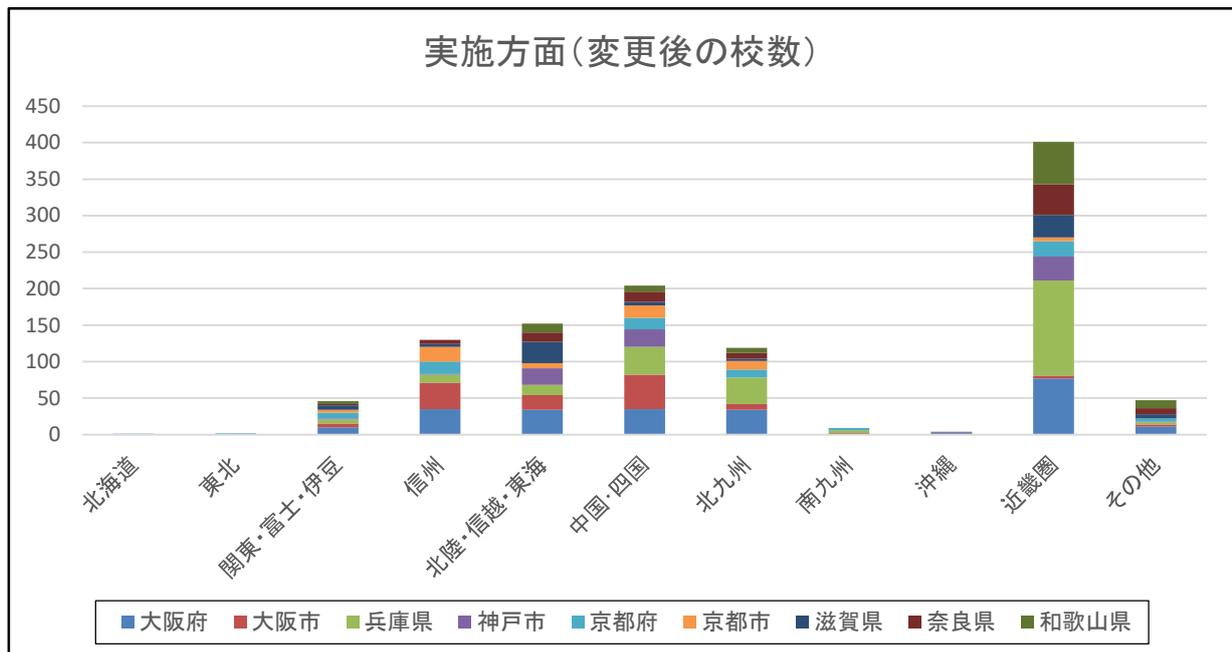
1- (2) 旅行実施方面について (変更後の内容)

(単位:校数)

\*最終的にキャンセルとなったケースも含まれています

方面	大阪府:大阪市 兵庫県:神戸市 京都府:京都市 滋賀県 奈良県 和歌山県									総計		昨年度		昨年差異
	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	比率	総数	比率	
北海道	1									1	0.1%	3	0.3%	-0.2%
東北	1				1					2	0.2%	2	0.2%	0.0%
関東・富士・伊豆	10	5	6	1	8	4	6	2	4	46	4.1%	319	27.0%	-22.9%
信州	35	36	11	1	17	20	4	6		130	11.7%	133	11.3%	0.4%
北陸・信越・東海	34	20	14	23		7	29	13	12	152	13.6%	45	3.8%	9.8%
中国・四国	35	47	38	24	16	17	5	14	8	204	18.3%	100	8.5%	9.8%
北九州	34	8	36		11	12	3	8	7	119	10.7%	191	16.2%	-5.5%
南九州		2	4		3					9	0.8%	18	1.5%	-0.7%
沖縄	3							1		4	0.4%	365	30.9%	-30.6%
近畿圏	77	4	130	33	21	5	31	42	58	401	36.0%	3	0.3%	35.7%
その他	11	3	3	1	4		6	8	11	47	4.2%	1	0.1%	4.1%
総計	241	125	242	83	81	65	84	94	100	1,115	100.0%	1,180		

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません



1- (3) 府県市別・方面別参加人員合計 (当初の予定)

(単位: 人員)

方面	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	方面別合計	構成比
北海道	126				137			24		287	0.2%
東北	61						154			215	0.2%
関東・富士・伊豆	1,519	1,295	6,085	3,349	1,779	730	4,156	956	5,454	25,323	21.5%
信州	4,835	5,884	1,754	318	1,573	234	546	326		15,470	13.2%
北陸・信越・東海	1,843	1,520	224	612	365	97				4,661	4.0%
中国・四国	2,590	6,435	396		175		96	83		9,775	8.3%
北九州	4,178	1,208	7,967	1,140	1,057	2,609	424	878	158	19,619	16.7%
南九州	674	440	1,605	391				124		3,234	2.8%
沖縄	9,932	635	8,821	5,550	601	5,861	2,595	4,649	105	38,749	33.0%
近畿圏			75		87				95	257	0.2%
その他	10,816	886	3,839	433	3,556	173	3,294	3,526	278	26,801	#DIV/0!
県別合計	36,574	18,303	30,766	11,793	9,330	9,531	11,265	10,566	6,090	117,590	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません



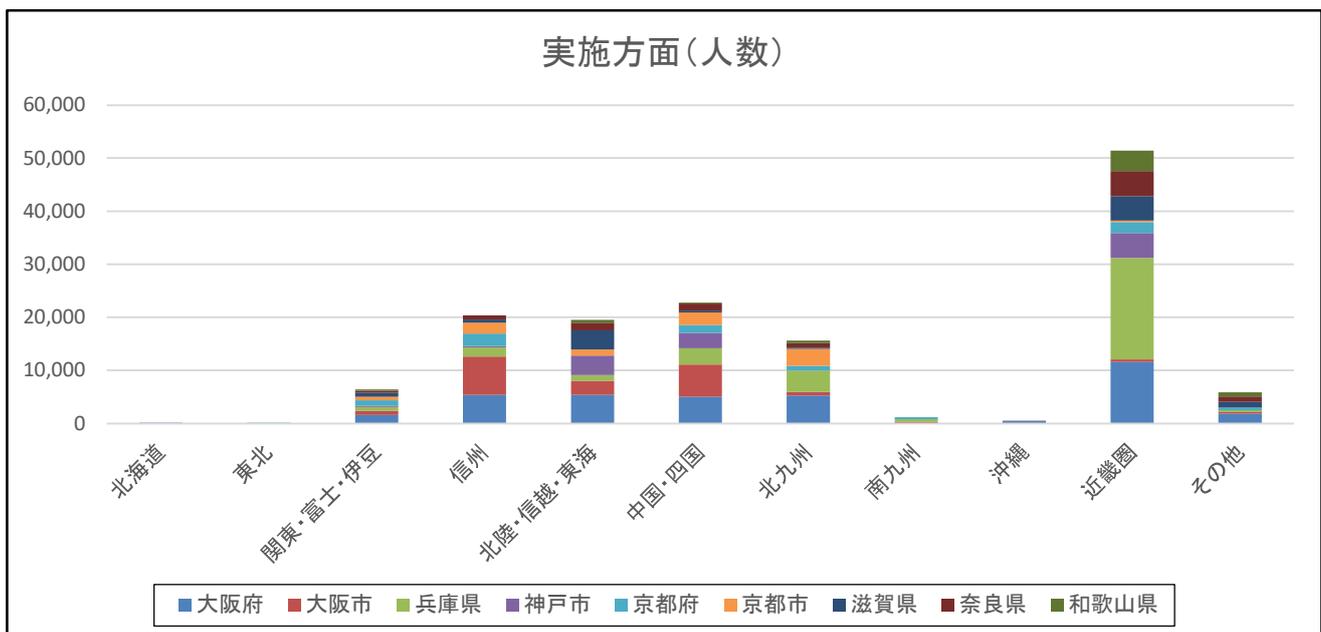
1- (3) 府県市別・方面別参加人員合計 (変更後の内容)

\*最終的にキャンセルとなったケースも含まれています

(単位: 人員)

方面	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	方面別合計	構成比
北海道	126									126	0.1%
東北	61				45					106	0.1%
関東・富士・伊豆	1,591	757	729	258	998	694	745	380	226	6,378	4.6%
信州	5,352	7,216	1,744	238	2,365	2,040	640	753		20,348	14.8%
北陸・信越・東海	5,367	2,639	1,101	3,683		1,141	3,567	1,450	575	19,523	14.2%
中国・四国	5,011	6,080	3,071	2,881	1,490	2,334	368	1,315	216	22,766	16.5%
北九州	5,245	632	4,044		910	3,181	263	847	460	15,582	11.3%
南九州		253	531		338					1,122	0.8%
沖縄	434							4		438	0.3%
近畿圏	11,552	474	19,137	4,723	2,013	314	4,601	4,736	3,856	51,406	37.3%
その他	1,835	252	409	5	428		1,081	1,081	757	5,848	4.2%
県別合計	36,574	18,303	30,766	11,783	8,587	9,704	11,265	10,566	6,090	137,795	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

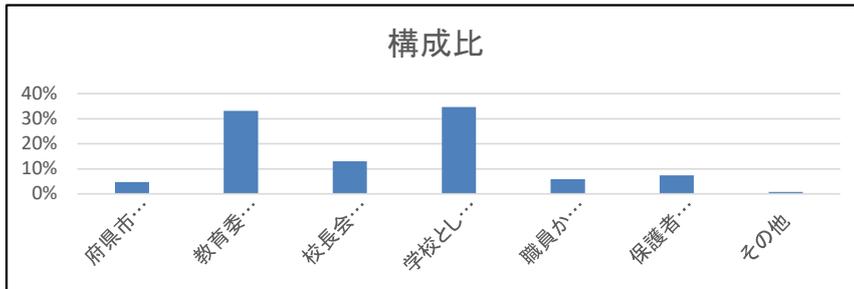


1-(4) 中止・変更の決定判断要因について(複数回答可)

(単位:校数)

	大阪府:大阪市	兵庫県:神戸市	京都府:京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比			
府県市町村等の判断・指示	22	15	19	11	7	4	5	8	4	95	4.8%
教育委員会の判断・指示	144	80	128	76	57	47	46	59	23	660	33.2%
校長会の判断・指示	53	4	91	8	27	12	27	11	26	259	13.0%
学校としての判断	127	70	168	27	50	52	61	56	81	692	34.8%
職員からの要望	18	8	54	2	5	4	9	10	8	118	5.9%
保護者からの要望	14	5	66	11	7	1	11	16	17	148	7.4%
その他	2	2	5	2	1	2			3	17	0.9%
合計	380	184	531	137	154	122	159	160	162	1,989	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

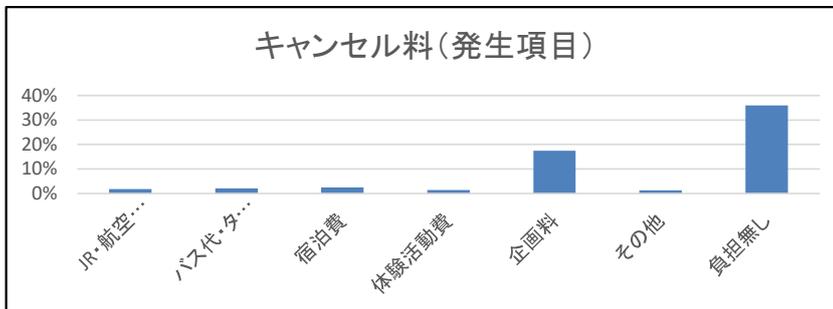


1-(5) 中止・変更におけるキャンセル料の発生について(複数回答可)

(単位:校数)

	大阪府:大阪市	兵庫県:神戸市	京都府:京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比			
交通費(JR・航空機等)	6	4	11	1		1	4	5	3	35	1.8%
交通費(バス代・タクシー代等)	7	11	8	3	1	1	3	5	2	41	2.1%
宿泊費	8	10	13	2	1	1	4	6	4	49	2.5%
体験活動費	4	8	7	1		1	4	1	2	28	1.4%
企画料	71	9	111	7	39	5	64	35	5	346	17.4%
その他	1	8	7		1	1	5	1	1	25	1.3%
キャンセル料の発生は無かった	157	96	122	75	44	59	18	54	91	716	36.0%
合計	254	146	279	89	86	69	102	107	108	1,240	62.3%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

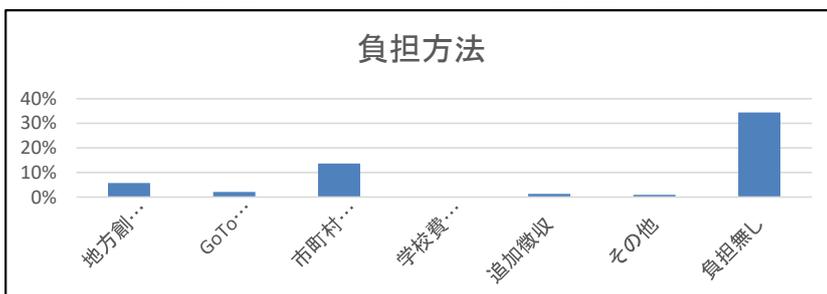


1-(6) キャンセル料の負担方法について

(単位:校数)

	大阪府:大阪市	兵庫県:神戸市	京都府:京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比			
地方創生臨時交付金等の活用	16	3	49		9		18	15	3	113	5.7%
GoToキャンペーンの活用	8	10	7		2	3	6	2	3	41	2.1%
市町村独自の補助	60	13	75	7	32	5	44	28	7	271	13.6%
学校費等の補填	1	1	1							3	0.2%
保護者への追加徴収	3	3	6				8	4	3	27	1.4%
その他	1	2	5	3	2		1	3		17	0.9%
キャンセル料の発生は無かった	151	89	114	70	42	59	18	52	90	685	34.4%
合計	240	121	257	80	87	67	95	104	106	1,157	58.2%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

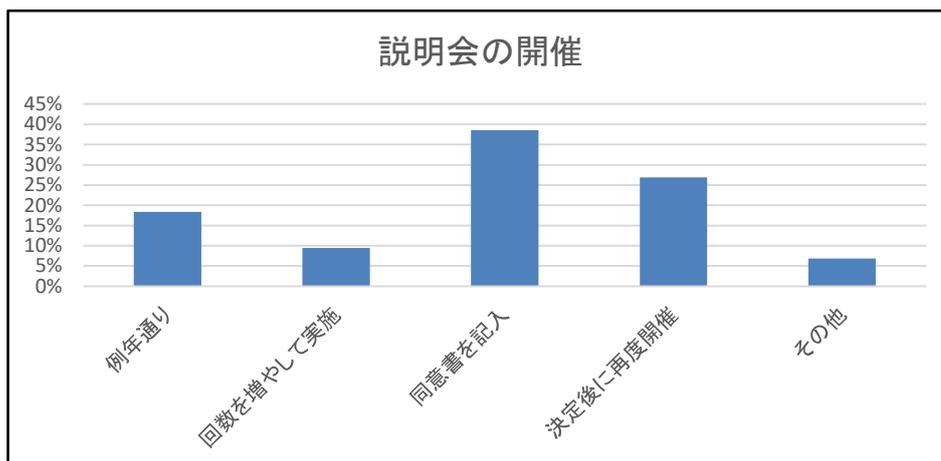


1-(7) 保護者説明会の開催について (複数回答可)

(単位:校数)

	大阪府:大阪市	兵庫県:神戸市	京都府:京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比			
例年通り実施した	76	54	68	15	17	20	22	30	31	333	18.3%
時間や回数を増やして実施した	19	8	36	34	16	13	11	14	20	171	9.4%
保護者より同意書を記入してもらった	138	71	161	66	43	41	59	57	65	701	38.6%
延期・中止の決定後に改めて開催した	97	54	110	42	37	45	25	43	35	488	26.9%
その他、特別な配慮を行った	33	5	29	1	12	7	7	15	15	124	6.8%
合計	363	192	404	158	125	126	124	159	166	1,817	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

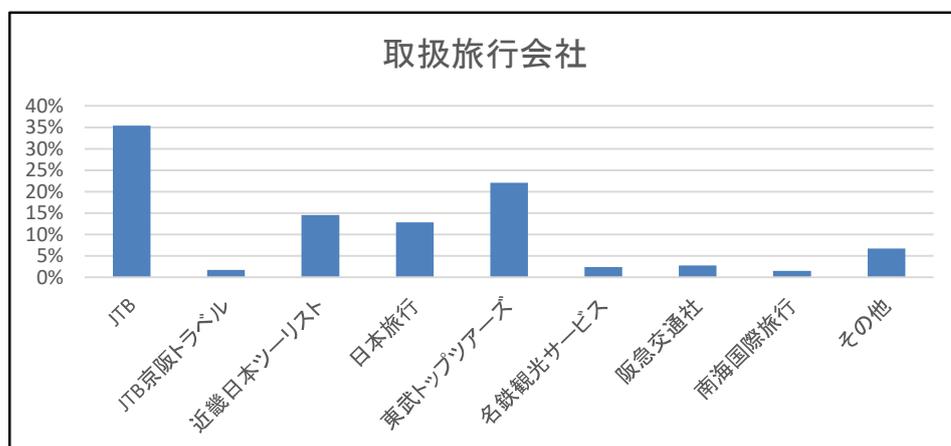


1-(8) 取扱旅行会社について

(単位:校数)

	大阪府:大阪市	兵庫県:神戸市	京都府:京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比			
JTB	67	44	99	58	16	22	17	42	32	397	35.4%
JTB京阪トラベル	10	1			6	2				19	1.7%
近畿日本ツーリスト	35	13	50	5	22	4	12	12	10	163	14.6%
日本旅行	20	4	39	12	12	12	22	15	8	144	12.9%
東武トップツアーズ	60	44	41	8	20	21	23	5	25	247	22.1%
名鉄観光サービス	4	6	4					8	5	27	2.4%
阪急交通社	17	11	3							31	2.8%
南海国際旅行	9	1							7	17	1.5%
その他	19	1	6		10	4	10	12	13	75	6.7%
合計	241	125	242	83	86	65	84	94	100	1,120	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません



## 1- (9) 修学旅行において、工夫したり配慮した点について

<p>感染防止対策 当初予定していた芸術鑑賞について、日帰り修学旅行とは別日に、劇団・内容等を変更し、本校体育館にて実施した。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策 往復の時間の短縮 インフルエンザ蔓延期を避けて実施</p>
<p>修学旅行の中止に伴い何か代替のものをと考え日帰りでの修学旅行を計画した。 また、3年生の進路指導が本格的にスタートする前の方が良いと考え11月初旬に計画し実施した。 公立高校の入学選抜後から卒業式までの間での実施も考えたが、 進路が定まりきらない生徒等も出ることや取組日程の関係で11月に実施した。 一旦、10月に方面を変更して計画をした。しかし、状況を踏まえて、中止とした。</p>
<p>1 校長の方針、意向等を丁寧に3回に渡って説明した。 2 市の教育委員会との連携を密にした。</p>
<p>感染リスクを徹底して避けて、感染防止のため、連絡、調整、依頼を行った。感染者の状況を注視し、訪問場所の変更を行った。また、保護者全員から同意書を提出いただいた。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底した。</p>
<p>感染者数の少ない地域を行き先に選定 一台の貸し切りバスで全行程</p>
<p>コロナウイルス感染症対策の前だったので、いつものインフルエンザ等の対策は講じたが、特に変更した点はない</p>
<p>コロナ対策の為、バスを2座席で1人にするなどバスの台数を増やしたり、宿舎や体験学習の定員を少なくしてもらった。 その分、費用がアップしたが、一部公費で補填したり、gotoキャンペーンを活用したりした。</p>
<p>日程の変更が厳しく、1泊2日の行程に変更した。他県をまたぐと感染の危険性を考慮し、京都府内で検討し実施した。</p>
<p>感染予防対策、バスおよび宿舎でのレクリエーション 新型コロナウイルス感染防止対策を綿密に行った。</p>
<p>貸切バスの台数は、密を避けるためにクラスに1台確保した。 感染拡大防止のため、業者と綿密に打ち合わせを何度ももった。 感染症対策として全行程を学級ごとの貸し切りバスで実施した。</p>
<p>修学旅行保護者説明会に旅行会社の担当者同席(保護者へのコロナ対策説明のため) 修学旅行時の新型コロナウイルス感染予防対策の確認(宿泊地等)と徹底(検温等の健康観察・マスク着用・消毒・密を防ぐ等)</p>
<p>コロナ感染防止の対策(手洗いや消毒・食事の座席・1クラス1台のバス手配・体験場所の分散など)</p>
<p>見学はなし。バスで他客との接触を絶った。</p>
<p>マスク(5枚入りセット)、消毒ジェル(小分け使い捨てタイプ10ヶ入り)、ポリ袋を参加生徒全員に配布した。</p>
<p>新型コロナウイルス感染対策 食事等におけるアレルギー(健康面)</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に向けての取り組みを徹底した。 京都市で本校より先に修学旅行を実施した学校からの情報提供をもとに感染症の方針を立てた。 バスは1クラス1台を確保し、座席に余裕を持たせて着席させた。SAでの休憩の際は必ず消毒をさせることを徹底。 常時マスクの着用。お菓子の交換はなし。 クラスごとの分宿を行い、部屋割りの人数も極力少なくした。 大浴場であったため、部屋ごとに時間差をつけて入るようにした。 写真撮影をする際のみ、マスクを外した。</p>
<p>宿泊を民泊ではなくホテルに、移動を全行程バスにした。(飛行機と民泊については一部保護者から強い反対があった。) 5月→6月→10月と二段階で10月実施を決定後、7月と9月に参加確認をとった。7月段階で保護者の思いを尋ね、計画にいかした。 当日は学年全体集合を一切行わず、クラス単位・班単位で動くこととした。 ホテルの部屋、バスの乗車において、通常よりゆとりをもって組んだ。</p>
<p>感染症防止対策として1校1館で旅館の手配 バス座席(バスを増加して二人分の座席を一人で使用) 消毒 1日2回健康調査 非接触型体温計の複数(6個)持参 食事座席 常時マスクの使用 旅館での部屋の換気 入浴の工夫など</p>
<p>密を避けるため貸し切りバスを大型とした。 手指の消毒を徹底した。 昼食会場は、本校のみの個室を利用させてもらった。 全体での行動をなるべく控え、グループでの活動を主とした。</p>
<p>コロナ対策に苦心した。</p>
<p>コロナウイルス感染予防を徹底した。</p>
<p>感染症予防対策の徹底(マスクの着用、手指消毒の徹底、三密を避ける等)</p>
<p>2回にわたる延期の為、校内行事との調整から、修学旅行を1泊2日で実施した。</p>

<p>9月に陽性者が多数あったので、生徒・保護者へ感染症対策(バス台数・移動時間・部屋割り・体験内容・食事形態等)を具体的に説明し、理解を得た。</p>
<p>感染症対策として、バスに乗る際の手指消毒、見学施設および宿舎での検温・手指消毒の徹底を図っていただいた。バスの中は、空調システムで随時換気を行っていただいた。食事の時には、スクール形式で、前後左右の距離をとって、前を向いて静かに食べることができるように、業者に依頼し実現した。</p>
<p>教職員全員が携帯用手指消毒液を持つ  検温を始め健康観察の徹底(毎日、担任が記入を確認)  可能な範囲で体温計の持参の呼掛け、および非接触型体温計の複数台と通常の体温計複数台の準備  食事の際には、全員が同一方向で、会話をしないで食事をするための徹底  移動中の換気、バス停止時の窓全開による換気  バス乗車の際、ホテルなど施設に入る際の手指消毒の徹底  ホテルに入る際の検温  体調不良者対応のため、保健室用の部屋を多い目に準備  就寝時、若干体調不良時は、別室で就寝</p>
<p>食事の形態、バス座席、部屋人数、分宿</p>
<p>コロナ禍であったため、感染予防については工夫を行った。(手指消毒、マスク、手洗い・うがい、バスや食事時の座席)</p>
<p>新幹線内でのアルコール消毒を行った。お菓子の交換禁止。  ホテルでの他の部屋への入室禁止。食事時、会話をするときにはマスクを着用。  食事やレクリエーションの会場、宿舎内での行動制限などについて配慮した。</p>
<p>感染症対策のため、バスの台数を増やす。新幹線乗車中はフェイスシールド、マスクを着用する。  できるだけ密にならないようにすること。消毒の徹底。</p>
<p>感染症対策(バスの台数を増やす。ホテル1室利用者を減らす。バスの移動時間を出来るだけ短くする。)  変更前の行程のねらいにできるだけ近くなるよう、新たな訪問先での行程を工夫した。</p>
<p>全行程を貸切りバスの異動で実施。バス乗車時は必ずガイドさんおよび教職員でアルコール消毒。  バス内レクリエーションは行わず、音楽やDVD(映画)を流し、極力会話を控えるよう指導。  朝・晩に検温(非接触型)及び健康観察票で体調を確認。発熱者は3日間でのべ3名(37度台前半)いたが、いずれも別室で就寝させ、翌朝には全員36度台となり、体調も問題なかった。内1名は翌朝の朝食前まで微熱があったため、念のため朝食は別会場とし、朝食後の検温で36度台となったが、念のため、その日のバス座席については最前列に座らせ、他の生徒と離れた。  2日目は1日雨天での班別行動であったが、上記以外は特に体調不良を訴える者はいなかった。事前に養護教諭や担任による健康管理の指導を繰り返した成果があったと思われる。  食事以外は全員がマスクを着用。  食事中は会話を控え、食事が終わった者からすぐにマスクを着用するよう指導した。  (ホテルの方に感謝されました)  食事会場の前にサーモグラフィーで検温できる装置が常備されており、検温の手間が省けた。(グランヴィア広島・倉敷アイビースクエア)  集合写真撮影は、所定の場所に並び終え、カメラマンの指示でマスクを外して撮影、その後すぐにマスクを着用した。  教員一人ずつに、携帯用のアルコール手指消毒用スプレーを用意した。  食事のおかわりは全て、ホテル側が対応。  2日目のホテルの夕食はテーブルマナー式の食事であった為、良い経験になった。  バスを利用した団体旅行が少ないため、SAはすいていた。  ホテル内の部屋の移動は禁止。  大浴場の使用は希望者として、時間区切り、人数制限で完全入換えとした。</p>
<p>方面、日時の変更を3回行った。  経費が基準額内に収まるように工夫をした。</p>
<p>おやつを自分で用意したものだけを食べ、他者と分けないう指導。  バスの乗降時の手指のアルコール消毒の徹底。  バス内・宿舎でのマスク着用の徹底。</p>
<p>コロナ感染症対策を十分に講じた。</p>
<p>新型コロナウイルス感染予防を最大限に鑑みた旅行とした。</p>
<p>コロナ対策  3密を避ける</p>
<p>感染症対策について、校長会修学旅行部会より様々な情報提供があり、それを参考にして実施した。</p>
<p>コロナ対策でバスの台数を増やした(各クラス1台ずつ)。  手指消毒、マスクの着用、検温の適宜実施。  実施2週間前からの学校における1日2回の検温。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、修学旅行実施の可否を検討するのは大きな労力を要した。  生徒の安全・安心を考えると中止または縮小を選択するのが妥当だと考えたが、今年の3年生には、年度当初の休校や部活動の大会・コンクールの中止、学校行事の縮小など学校生活に大きな制限を強いることになった。  そういった状況で、修学旅行だけは何とか実施したいとの思いから重たい決断ではあったが実施を決めた。  2泊3日の修学旅行で生徒の笑顔に触れられたことは大きな喜びであった。  3密をできるだけ避けるように、食事の座席配置などを工夫した。</p>

<p>◎新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊場所の分散。</li> <li>・除菌シートの利用。</li> <li>・集団行動の機会を減らし、密を避けた。</li> </ul>
<p>コロナウイルス感染予防対策に関して、学校長を始め、業者・教職員の間で予防対策をしっかりとできるように行った。</p>
<p>コロナ対策</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応として、こまめな手洗いや消毒、      宿舎での配食の工夫、一部屋の人数の制限等を工夫した。</p> <p>コロナ等によりキャンセル料が発生したときは、教育委員会がキャンセル料を払ってくれる旨、確認できた。      コロナ感染症予防に伴って、生徒一人一人に小型のアルコールスプレーを持たせた。</p> <p>他人との接触を減らすためバス移動とグランピングにした。緊急時対応をしやすくするため府内で実施した。      ・代替校外学習については、生徒アンケートによって決定し、参加・不参加を確認した。</p>
<p>感染リスクの低い活動等に変更</p> <p>コロナ感染予防の徹底(3密を避ける対応の徹底)</p> <p>保護者説明会を3回実施      保護者に同意書の提出を求める      ・民泊の予定を変更</p>
<p>感染症防止対策</p> <p>出発前に保護者説明会を開催した。</p>
<p>コロナ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス増発</li> <li>・現地で近畿車両をレンタル</li> <li>・事前、事後指導の徹底</li> </ul> <p>感染対策 旅行業者を通じてバス、食事場所、見学場所と連絡を取り、学校の要望も伝える。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策の徹底</p> <p>形は変わっても、3年間取り組んできた総合学習の柱に沿った内容で実施した。</p>
<p>コロナウイルス感染対策</p> <p>代替措置として実施する校外学習の方面の検討      実施時の感染予防対策</p>
<p>GoToキャンペーンが使えたことにより、バスの台数を2台を3台に増やすことができた。</p> <p>新型コロナウイルス対策としてできるだけ三密を防ぎ、マスクの着用、手指消毒等感染対策に配慮した。      Gotoトラベルの活用により、費用を抑えることができた。</p>
<p>アルコールスプレーを一人1本用意した。      小遣いの上限は決めていない。ただ、go toトラベルに伴うクーポンが1万3千円ほどあったためそれを考えて持つてくるように指導した。(30000はクーポンを含めたおおよその額を入力している)</p>
<p>旅行社より延期決定を7月末に求められ、感染症対策として早い段階で延期を決定した。      そのために、9月に第2学年の保護者には、第3学年で実施することをお知らせすることができた。</p>
<p>不特定多数が同乗する公共交通機関を避け、貸切バスのみを使用した</p>
<p>食事等、コロナ対策</p> <p>方面や日程を2度変更した。</p>
<p>新型コロナウイルス感染対策として、宿泊を伴わない0泊2日の校外活動として修学旅行を実施した。      生徒、保護者、職員の安全安心を第1に考慮し、狭い地域のため地域の意見を加味し決定した。      まず4月実施から10月実施に時期を延期し、その後、方面を関東方面から中国・四国方面へ変更した。結局、中止にした。</p>
<p>4月に妙高・東京方面予定を9月に信州・北陸に変更した。しかしそれも取りやめ日帰りを実施した。      中止ではなく、代替活動を実施する上で、活動内容や移動手段等を決めるのに苦慮した。      保護者(PTA学級委員、本部役員)の意見等を聞く場を設定した。      代替行事を計画するにあたり、生徒(修学旅行)実行委員を中心に、生徒の思いを尊重しながら再度、企画立案した。      コロナウイルス感染症対策の観点から、マスクの着用と手指の消毒・検温を実施した。      生徒の心に残る内容となるように考えた。</p>
<p>市教育委員会の判断により、日帰りとした。      「G0.T0.トラベル」の適用により、保護者の負担額が2460円となった。      コロナ禍であることを考えると、積立金の大半を保護者に返金できたのはよかった。</p>
<p>生徒の安心・安全を第一に考えた結果、当初予定の沖縄から東京方面、一旦沖縄に戻して信州方面へ、      と何度も変更を繰り返して、学校現場の先生方には大変迷惑をかけてしまった。      中学3年生の実施であるため、受験を控える中、保護者感情を一定考慮し日帰り旅行とした。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で行き先の変更を余儀なくされたが、      生徒の安全を第一に考えながら学年や学級のつながりを深める修学旅行となるよう努めた。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策として、移動中や見学先、食事会場、宿泊先で常に検温、手指消毒を徹底して行った。      宿泊を一泊とし、生徒が体調を崩した場合に迎えに来てもらえるよう訪問先を近隣県にした。      感染症対策を確実にやっていると考えられる場所を選択した。</p>
<p>県内での宿泊にした。ホテルの部屋割り、バスなど密にならないよう配慮した。      全員で集合する場所を減らすような日程を組んだ。</p>
<p>繁華街には行かない      貸し切りバスを利用する      昼食は弁当持参</p>

<p>宿舎における部屋は必ず一人部屋とし、大浴場への入場は禁止した。 また、移動中や活動中はマスクの着用を呼びかけ、健康観察などもこまめに行った。</p>
<p>感染症対策を優先。 宿泊を伴う修学旅行を中止とし、保護者の迎え可能な範囲や場所を検討しながらGO-TOキャンペーンを利用して、ネスタリゾート神戸の体験学習を日帰りの修学旅行と位置づけて実施した。 (旅行者は、修学旅行の位置づけであれば、割引が可能とのことであった。) 貸し切りバスを利用し、乗車前の消毒など感染防止対策に取り組んだ。 健康観察に加え、施設の入場前にも検温、消毒を行った。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症予防対策として外部との完全隔離を基本とした。 具体的には、貸し切りバス、ホテル貸し切り、他団体との接触のない計画。結果、代替行事となったが、同様に貸し切りバス、ボーリング場貸し切り、ホテルの会場貸し切りで行った。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症予防に向けた取組(消毒、三密回避等) 日帰りとし、交通機関も1クラス1台の貸し切りバスとした。</p>
<p>肢体不自由生徒が在籍しており、その生徒も旅行が楽しめるように方面や内容を検討した。 新型コロナウイルス感染防止のために、バスの利用についての手指消毒等の対応やマスク着用指導を徹底した。</p>
<p>キャンセル料による保護者の負担軽減</p>
<p>新型コロナウイルス感染の予防対策</p>
<p>コロナが広がっていない地域を探して修学旅行を実施した。</p>
<p>万全な感染症対策</p>
<p>日々刻々と国内の状況が変化する中で、感染症対策を十分に講じたうえで、泊を伴わず、目的にあったプランを構築すること</p>
<p>感染者数の少ない地域への計画 1週間前からの健康観察 当日の感染予防の徹底 看護師の同行</p>
<p>地域の産業回復も兼ねて、地元のホテルや観光地をコースに入れた。</p>
<p>新型コロナウイルスに感染しないよう、日程、行き先、行き先での感染対策の充実を十分検討した。</p>
<p>宿舎へ感染予防策の実施を要望。特に食事会場。</p>
<p>旅行先の設定を、生徒が発熱した場合に、車両等で帰宅できる距離としたこと。 発熱等のリスクを考え、1泊2日の設定にしたこと。 感染リスク低減措置を具体的に講じて企画したこと。 Go-Toの利用等、保護者の負担を軽減して企画したこと。 修学旅行後の学校行事や進路事務等を考え9月に実施したこと。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症に感染した場合、本校は大規模校のため現地の医療崩壊を起こさせてしまうこと。 感染した場合、沖縄から帰校できないこと。感染した場合、大型クラスターが発生する恐れがあること。</p>
<p>バスの乗車人数を制限し、それに伴って増えたバス代については市が負担していただいた。 マスクは乗車中も体験中も着用し、食事は、顔を向かい合わせにならないようにした。</p>
<p>新型コロナ感染症対策</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、交通機関を学校から貸切バスに変更した。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染防止対策として、 全行程バスの利用 携帯除菌スプレーを全員に配布 ホテル到着後すぐに入浴 ホテルの階の貸し切り、部屋から出ないように指示 等を特に気をつけた。</p>
<p>看護師の帯同</p>
<p>本校は4月沖縄で計画をしていたが、前年度三学期に保護者・生徒の理解を得ながら6月沖縄に変更をして、取組をする予定だった。3月からの臨時休業と、4月以降の臨時休業もあり、その段階ではいつ学校再開ができるか見通しもなかったため、臨時休業中に保護者会を持ち、6月沖縄案を変更した。修学旅行のねらいの一つに平和学習があったので、10月長崎で計画を練り直した。 ただ、あえてコロナ禍の中、長崎の下見を8月に行ったが、万全のコロナ対策を行うことが非常に厳しい状況と判断して、修学旅行の中止を決定した。 一旦中止の決定をしたが、その後再度検討して、公立高校の入試終了から卒業式までの間に思い出作りをさせたく、3月の日帰り旅行を計画している。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策として、市校長会・教育委員会で修学旅行に対する基本的な考え方を整理した。 その基本線に基づき、各校が計画・実施をした。 旅行中の感染症対策や保護者への協力もお願いした。</p>
<p>基本的な考え方</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、修学旅行のねらいをふまえる。</li> <li>2、宿泊を伴う場合は、県内泊とする。(泊を伴わなくてもよい)</li> <li>3、行き先は県内・近隣府県とする。</li> <li>4、公共交通機関は極力利用しない。(貸し切りバス)</li> </ol>

2日間の実施だったが、日帰りを2日連続で行い、泊は自宅とした。 学校から貸し切りバスを利用したが、バスの台数を学級数×2台にした。
感染症対策。保護者の同意。
感染症対策
感染予防対策。国の動向が、定まらず学校現場は、かなり混乱し、負担が、増した。
現地の感染症対策を調べるために再度下見を行った。 感染症対策を保護者に説明してから参加確認、同意書を取った。
6月の修学旅行が9月に延期になり、最終的には中止となってしまった。 代替の日帰りの校外学習では、修学旅行でやる予定だったアクティビティに近い体験ができる場所を選んだ。 また長崎で予定していた被爆体験講話をリモートで実施した。 子ども達が寂しい思いをしないように、少しでも思い出として残るように意識して取り組んだ。
感染症対策(朝夕の検温、常時マスクの着用、手指消毒の徹底) 食事配列(ソーシャルディスタンスの確保、千鳥配置) 入浴時間の延長(入浴人数の制限) 学年レクリエーション、クラスミーティングの回避(密な状況、身体的接触が発生するため)
マスク着用、手指の消毒等の徹底 宿泊する際、一部屋の宿泊人数の削減 食事の際、対面座席にならないように座席を配置
内容を大幅に変更した。
感染防止対策(マスクの着用、毎日の検温、手洗いの励行)の徹底
感染予防
民泊を中止した
当初は6月実施予定であった、コロナ禍のため9月に延期、9月が台風の為10月に再延期となった。 日程、宿舎の確保から2泊を1泊にした。
体温計持参の上、旅行中は体温を測定した。 帰りの新大阪から貝塚までのバスをもう一台追加した。
移動バスの増便(1台を2台に) 食事提供方法の変更を依頼 体調、体温チェック前後2週間の実施 緊急時の保護者対応の確認 室内で学年で集まる企画、講師との交流企画を中止(聞き取り学習、レクリエーション活動など)
方面・日程を変更した。 1日目宿舎は、建物貸切 2日目は、フロア貸切(1部屋当たりの人数をへらした) 3日目は、クラスごとに時間差をつけて行動し、密集しないようにした。
感染症対策のため、民泊をやめ、同じホテルの連泊に変更した。 感染症対策のため、バスを一台増やした。(バスの費用は市が負担したため、費用に計上していない。) 台風シーズンのため、保険を変更した。
新型コロナウイルス感染予防対策
コロナ感染対策、コロナ感染時の対応方針策定(前日まで、出発前、現地にて)、変更決定後に保護者へ意向調査
感染予防の徹底。 公共交通機関を使わない。 広い場所での食事。 バイク形式ではなく、係りの人にとってもらう。 少人数で宿泊できるホテル
コロナ感染防止策を万全を期して実行した。(感染防止マニュアルの策定)
新型コロナ感染防止に向けた対策と実施
新型コロナウイルスの影響もあり、体調不良になった生徒がいた場合、 早急に保護者の方に迎えに来ていただく必要があるため、方面を近場に変更した。
マスク着用・手指消毒・ソーシャルディスタンスなど、いわゆる感染対策を徹底したこと。(「コロナ対策グッズ」も用意した)
目的地を信州から若狭地方に変更した。 理由は罹患者が出た場合、保護者に迎えに来てもらいやすいことと、ホテル一棟貸し切りができることだった。 GoToキャンペーンにより、生徒一人につき1万円の地域振興券が出た。使い切らせることが大変であった。小遣い5千円は使用せず、事前に預かっていた財布は帰校してから生徒に返却した。
旅行業者に修学旅行先及び日程変更を早期の段階で依頼できたことがよかった。 交通手段を貸切バスに変更したことで時間に余裕ができて行動範囲が広がった。
密とならないよう、2泊ともクラスごとに分宿とした。 全ての食事メニューを個食となるように変更した。 緊急時に備えるため、同行看護師の増員、添乗員の増員、保険料の増額を行った。
日帰りでの実施。密にならないところでの代替実施。
宿泊について、断念した。日帰り、往復バスで、市の補助により、バスの台数を2倍にして実施した。
日帰りにした。

<p>検温・マスク・消毒の徹底          宿泊をやめ日帰りにした。          バスでの移動</p>
<p>バスを予定より3台増台</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、保護者の心配が通常より大きくなっていたため、どのような感染症対策を行うのかなど丁寧な説明を行うことを心掛けた。          また、説明会の時に参加を見合わせる人数が多ければ(1割以上)計画の見直しをすることも伝えた。          コロナ対策に重点をおき、レクリエーションや体験活動(平和学習含む)については中止し、友達との思い出作りを中心に企画・運営をした。          又、感染症対策がどのように行われているのかを再確認の為、教頭・学年主任を再度下見に行かせた。          (観光協会等への確認も兼ねて)</p>
<p>もともとは沖縄方面の予定であったが、急遽、四国方面に行き先を変更し、全工程をバスに切り替えた          バスも3台で収まる人数だが4台にして対応した。          コロナ対策に重きを置き、いろいろな場面んで、密になることを避け、手指消毒をし、マスクの着用を徹底した。</p>
<p>感染症対策、実施時期、GOTOキャンペーンの活用</p>
<p>感染症への配慮と、縮小したが思い出に残る旅行になるように工夫した。</p>
<p>コロナ対策について(食事・体験・バスなど)考えた</p>
<p>看護師派遣依頼</p>
<p>市教委からの指示通りに、保護者が車両を使って片道4時間で迎えに来ることができる範囲を想定して行き先を決定。          当初予定していた平和学習はできなかったが、阪神淡路大震災を例に防災学習を絡めて訪問先を選定した。          班別行動や体験学習など、当初予定していた内容に劣ることがないようにメニューを組み込んだ。          コロナ対応として通常1クラス1台のバスを、男女に分けて乗車し1クラス2台のバスをチャーターした。          宿舎では大浴場を使用せず、部屋にある風呂を使用した。          宿舎の食事場所は1テーブル当たりの人数を減らし、ビュッフェ形式にせず個別の食事とした。</p>
<p>3密を回避するため、バス増車、部屋数増加を配慮</p>
<p>保護者説明の機会を増やした。          生徒の意見も取り入れた。</p>
<p>車で保護者が迎えに来ることが可能な地域を、行先に選んだ。          国からの補助金を使い、バスを1台増やした。          12月実施のため、GoToトラベルの対象となり、2万円弱の補助を受けた。また8000円分の地域クーポン券を利用することができた。          近場の滋賀県や愛知県などの良さを再認識できた。</p>
<p>事前の感染防止対策の徹底 当日の感染防止の徹底</p>
<p>コロナ対策として、JR新幹線の生徒座席前後に1列ずつ空席を確保した。          現地でのバスを1台追加した。</p>
<p>手指消毒の場面・回数を丁寧に検討した。          密を避けるため、バス座席・寝室のスペースを確保した。          体調不良時に保障が手厚い保険に加入した。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症防止対策</p>
<p>密を回避するために、1クラスにつきバス2台(3クラス×2=6台)で実施した。</p>
<p>新型コロナウイルス対策マニュアルを作成した。</p>
<p>日帰りになったが、内容は盛り沢山で、昼食も高額なものにした。          生徒に水筒を持参させず、数回に分けてペットボトルで飲料を提供した。</p>
<p>感染症対策</p>
<p>保護者向けの説明会(例年は行わず)          保険の見直し          密にならないプログラム</p>
<p>旅行先で発熱などの体調不良を訴える生徒がでることを想定して2泊を1泊に短縮し、白馬だった旅行先を該当生徒を帰阪させやすい飯田市に変更した。          また、プログラム実施場所に到着したら、毎回、検温してバスから降車させるなど感染症対策は丁寧にいった。</p>
<p>①輸送機関(貸し切りバス)での対策          ②宿泊施設・食事施設での対策          ③各訪問場所での対策          ④旅行事業者との連携          ⑤学校から生徒への指導</p>
<p>9月に延期したが、健康観察は検温も含め一月前から十分行った。          バス内でのレクリエーションは工夫したが、乗車席の前後を透明板で仕切ってもらった。</p>
<p>新型コロナウイルス感染予防でマスク検温手洗い検温の徹底、密の防止バス席の工夫宿泊時の部屋に人数調整部屋数を増やす。食事の席の工夫など。          GoToの利用</p>
<p>①バスでの感染対策          ②体験施設・体験時の感染対策          ③宿舎での感染対策(部屋・食事・風呂など)          ④寒い時期の実施による行程表の見直し(入浴時間の延長など)</p>

<p>民泊ができなくなったため、それにかわる案を慎重に検討した。 保護者にていねいに説明することに心がけた。 感染予防の徹底については、事前準備から慎重に細かく行った。</p>
<p>感染症対策を徹底した。修学旅行の前後二週間の検温、体調管理の徹底。マスクの着用。 バスの乗降車時には手指の消毒。バスの休憩回数を増やし、そのつど換気。 生徒一人ひとりに消毒用のアルコールスプレーとシートを配布。一部屋の人数を減らす。 食事は各自配膳で前向きで食べる。宿舎にも消毒の徹底をお願いした。</p>
<p>コロナ対策を徹底した。</p>
<p>コロナ感染症対策の徹底</p>
<p>コロナ対策に尽きる</p>
<p>近畿圏への修学旅行として行う。もしもの場合、保護者がすぐに迎えに来れる宿泊場所とする。</p>
<p>新型コロナウイルス感染予防対策全般について、配慮する。</p>
<p>できるだけ近いところ、宿舎を貸し切りのできる所を選んで実施した。</p>
<p>蜜を避ける 全体を集めない 食事は対面しない</p>
<p>2泊3日の予定を、宿泊をやめ日帰り2日間の旅行に変更 選択参加できるようにした。</p>
<p>元の予定の九州⇒長野⇒近隣と大幅に変更しながらも生徒の意見を取り入れて行く先を決定し実施でき、満足度は高かった。 感染防止のための配慮はかなり細かく説明会でも資料を用意して説明し、不安からの欠席は無かったが、出発まで感染者が出ないか、帰るまでも体調不良者が出ないか気が気でなかった。</p>
<p>感染拡大防止策</p>
<p>密にならないように、バスを各クラスにしたこと。部屋を大きめのところにした。二泊で密になることを避け、1泊とした。</p>
<p>特に配慮した点:コロナ対応</p>
<p>感染予防対策</p>
<p>生徒が発病した時、保護者に迎えに来てもらえるように、飛行機や船を利用しなければならない場所は避けた。</p>
<p>各施設・バスでの消毒などの感染症予防対策 宿舎での三密回避</p>
<p>旅行中の緊急時の対応の手順、緊急時の交通費・宿泊費等の負担や保険の補償範囲の確認</p>
<p>バスの台数を倍増した。</p>
<p>バスを増便して密を回避・宿泊施設の部屋数を増やした・学年レクリエーションの中止・入浴人数、時間の工夫</p>
<p>2泊3日の予定を1泊2日に変更した</p>
<p>広島での平和学習が主たる内容であったが、宿泊地についてはより学校に近い兵庫県に設定した</p>
<p>訪問地は感染者数の多い都市を避け、少ない観光地を選択した。また、バスを2倍に増やし、検温を何度も行った。</p>
<p>体調不良者が出た時に、対応できるように、近畿圏内に目的地を変更した。</p>
<p>下見では、コロナ対策をしっかりとお願いした。コロナによる中止の時に、キャンセル料を町負担にお願いした。</p>
<p>部屋は、二人一室か、三名一室。食事は、個別で。</p>
<p>生徒の意見をしっかりと聴いた。</p>
<p>感染予防(宿泊することによる感染リスクを避けるため日帰り実施。市の補助による往復の貸し切りバスの増便。)</p>
<p>貸切バスは各クラス2台に分乗</p>
<p>バスの増便(市が全額負担)</p>
<p>生徒の健康観察</p>
<p>検温するために個人で体温計を準備させた。 携帯用のアルコールスプレーを一人ずつ準備した。</p>
<p>感染リスクを減じるため、移動距離を短くし、泊数も少くした。</p>
<p>保護者説明会の実施形態</p>
<p>看護師手配 帰校の時間 クラス分宿 トイレ付きバス 一般の方との接触しない体験場所の設定</p>
<p>感染予防を行った。往復のバスの車内・食事・宿泊部屋の人数・宿泊先の入浴・体験学習の人数等</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策をしました。</p>
<p>コロナ対策</p>
<p>コロナ感染症対策について、現地との連絡を頻繁に取り合った。 生徒に実施2週間前から体調管理を指示した。</p>
<p>感染症対策</p>
<p>オリパラ事業計画 ※助成金で-19795円</p>
<p>感染予防のための消毒液等の準備 熱中症予防のためお茶の配付</p>
<p>急遽の変更で、下見などで苦労した。 マスクの着用など、コロナ対策を講じて実施した。</p>
<p>gotoキャンペーンの適用により、生徒一人あたり21370円の割引があった。</p>
<p>新型コロナウイルス感染予防対策の徹底に尽きます。</p>

保護者への説明や連絡を丁寧に行った。
GOTOキャンペーンを利用し、コロナ対策としてバスを増台し移動での密を少なくした。
民泊をなくした。
国のコロナ対策補助金でアルコール消毒用の容器のみを購入し、学校で消毒液を入れ生徒に配布し、各自で持参させ
コロナウイルス感染症対策のため、一泊二日での実施とした
コロナ感染症対策の徹底と日程変更による熱中症対策の徹底
go toキャンペーンのクーポンの使い方を生徒主体で計画させるなどした。
go toキャンペーンで割引があったので、より安全安心なものにするため、保険の充実や民泊からホテルに変更するなどした
コロナウイルス感染症拡大予防
変更後の民泊中止の対応。出発後のコロナ発生に対しての保険や引率に対して(発生しなかったが)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、宿泊施設や旅程の変更のほか、生徒の活動等も変更になった。
バスでのレクリエーションも取りやめた。
参加者には各自1セットの感染予防グッズ(体温計、除菌シート、マスク入れ)の配付、及び、毎朝夕の体温確認など。
コロナや台風の影響もあり、2度延期し、行き先・日数を変更した。
消毒セットの携帯
バスの台数を2倍にした
手指消毒液、非接触型体温計の持参等
生徒、引率教員の健康管理
感染防止対策
代替日の設定やキャンセル料等
コロナ禍における感染症対策を講じながら健康に留意させて活動させること。
バスを1台から2台に増やす、民泊をやめてホテルで宿泊、その他活動内容の変更など、感染症予防対策に配慮した。
貸切バス等の移動において、バスレフは実施せず、音楽をかけるようにした。
食事において、バイキング形式ではなく個別での提供に変更した。
宿泊において、当初は民泊を予定していたが、ホテルに変更し、1部屋あたりの人数も少なくして部屋数を確保してもらった。
体験活動において、うどん作りも考えたが、密集または不特定人数がふれるものとなるため、かずら橋見学に変更した。
車庫説明会や変更説明会を実施することができなかったため、学校ホームページ等を活用して保護者へ周知した
2週間前より検温・体調等の健康管理をチェックシートを用いて行い、発熱等の症状がみられる生徒については、保護者の同意のうえに修学旅行の参加を控えさせる措置を予定していた。
修学旅行中も朝・夕の検温、随時の健康管理をチェックシートで行った。生徒にはマスクを携帯させ、常に衛生管理を行った。帰校後もチェックシートによる健康観察を2週間継続した。
バスをクラスに2台配車した。
貸し切りバスの増便(4台⇒8台)
レクリエーション大会の中止
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、バス3台から4台に増やした。
宿舍の部屋数の増加。食事の部屋の拡大。
感染症対策
バスのトイレ休憩停車に追加して喚起のために停車回数を増やした。
食事会場のレイアウトの工夫。
体験活動時間の延長。
2週間前からの検温、修学旅行まえの体育祭を修学旅行の後に変更、旅行先での発熱はそく退団保護者引取、総体等での途中からの入団はさせないなど、保護者理解を求め厳しいルールで臨んだ。
保護者説明会では新型コロナウイルス感染症対策など特に丁寧に説明しました。
また、延期後も再度同意書の提出を求めるなど、保護者の理解を得られるよう努めました。
感染状況や対応が日々変化するためぎりぎりまで行程が決まらず、学年が苦勞していた。
どのような状況でも感染症対策を徹底し、生徒の体調管理をより丁寧に行った。
検温、消毒、ソーシャルディスタンスの確保
GOTOトラベルの割引を活用して、ほぼ予定の金額になるよう、食事のメニューや見学に係る費用を調整した。
バスの台数を増やした。
感染対策のために、
①Go toトラベルを活用して、バスを倍(5台→10台)に増やした。
②1泊目の民泊をやめて、ホテル泊に変更した。
感染対策としてバスの台数を2倍にした。
バスや宿舍内の換気はもちろんのこと、宿泊部屋・食事会場・浴場などの広さ、また利用人数などに気を遣いました。
感染対策
山口県周防大島での民泊体験が、現地からの受け入れ中止通知を受け、2泊ともホテル利用に変え、民泊体験から班での散策活動を多く取り入れて実施した。
コロナ対策
保護者の意見を取り入れるため、説明会を3回実施した。
GoToキャンペーンを利用してバスの台数を倍増し、移動中の密を避けた。
密を避けるため、バスと宿泊する部屋数を増やした。安全面を考えての活動内容と看護師の同行をした。
マスク着用の徹底
車内での私語自粛の徹底、検温、消毒、健康観察記録の徹底

<p>新型コロナウイルス感染予防対策について様々な対応をした。          コロナ感染でキャンセル料の負担が発生した場合、保護者がするのか教育委員会がするのか。          旅行中の発熱等の対策についてのシミュレーション。          GOTOトラベルの詳細が直前まで不明だった点について。</p>
<p>感染症対策          発熱した生徒への対応</p>
<p>2年次から修学旅行の取組を行っていたが、一度は実施日を9月中旬に変更した。目的地の民泊を受け入れてもらえなかったことにより方面を変更することで、生徒には修学旅行が実施できるかどうかという不安があった。取り組み内容が大きく変更され、短期間で生徒の取組を行うこととなった。          中学校生活でも大きな思い出となる修学旅行を中止することは考えておらず、実施できたことは大きな教育効果があった</p>
<p>感染症防止対策の徹底</p>
<p>移動の際の健康観察、宿泊施設での別室対応</p>
<p>食事の時の配置</p>
<p>感染症対策を徹底した。消毒、マスク着用、検温</p>
<p>事前にビデオ撮影をし、バス車中などで映像を観て楽しむ時間を持った。          感染拡大防止対策を図りながら、できる限り取組を縮小することなく実施した。          どうしてもリスクの高い取組については、旅行業者と検討し代替案に変更して実施した。</p>
<p>感染予防対策に万全を期した。</p>
<p>レクリエーションでは、生徒が事前に映像を作成し、それを視聴する形式とした。          GoToキャンペーンを利用し、蜜を避けるため部屋数を増やし、部屋ごとの人数を削減した。          宿舎の食事会場、昼食のレストラン会場の座席について、対面にならないように配慮した。</p>
<p>例年の保険に加え、コロナ対策用の保険をつけた。</p>
<p>マスク着用や手指消毒の徹底          宿泊部屋や体験班の人数を減らし、密を避ける          1日3回の検温実施</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策について、すべての取り組みについて3密を避けるための工夫をした。          生徒の間隔、食事の取り方、各行程間の消毒作業など感染症予防対策を行った。          中学生に「私たちに修学旅行がなかった」と思わせないように先生方が全力を尽くした。</p>
<p>宿泊地はバスで3時間圏内にした。          バスは1クラス2台を配車。          部屋割、食事、風呂は密を避ける工夫。          GoToトラベル事業助成金を有効活用した。</p>
<p>感染症対策として、初日(日曜日)を避けて、2泊3日から1泊2日に変更。          GOTOトラベルを活用し、一人当たり13935円の割引となった。</p>
<p>GoToキャンペーンを活用して、保護者負担を軽減した。          感染症予防対策として宿泊施設での昼食場所を増やして、1度に喫食する人数を減らした。個別配膳をして生徒は同一方向を向いて喫食。</p>
<p>感染防止対策</p>
<p>日帰り旅行となったが旅行内容を充実させた。          当初は5月に沖縄方面で実施予定であったが、教育委員会からの指示もあり9月に延期して実施する計画を立てた。          しかし、市教育委員会から今年度の宿泊行事は中止するとの決定を受け、11月に日帰り修学旅行を行うこととした。</p>
<p>バス内での感染防止対策 消毒ジェルの配布</p>
<p>消毒作業</p>
<p>移動以外の活動は屋外でおこなった。          今年度、コロナ禍による行先変更からの中止など、対応に追われた。          また、生徒や保護者への通達や対応には、極めて慎重になった。</p>
<p>日程の短縮、日帰り実施、他校との接触が少ないこと等の日程や目的地、生徒が楽しめること等を考慮          旅行団体保険について、例年よりも保険適応範囲が広いものにした。</p>
<p>健康観察・検温等をこまめに実施した。          本校では修学旅行は教育活動の一環として行ってきたし、本校教育の集大成としての意義がある。          しかし、今年度は修学旅行に行くことを最優先し、取組みの一部(例えば平和教育)を割愛したり縮小したりした。          そのため、例年と比較して事前・事後の指導に多くの時間が必要となった。</p>
<p>新型コロナウイルス感染防止対策実施の上で行った。          行程中に熱が発生した際の医療機関との連携を確認した。          生徒が医療機関に係った時の保護者対応の確認をした。その際の交通費や滞在費確保の保険に加入した。          時期が8月下旬になったので、自然災害(台風等)による交通機関の乱れや追加泊になった時の保険に加入した。          保護者に参加同意書を取り、情報を早めに共有することが、スムーズな実施に繋がった。</p>
<p>3密の回避のため、新幹線内やバス内での飲食を禁止した。民泊から高級ホテルへ変更した。</p>
<p>交通機関          コロナ対策          平和学習</p>
<p>食事会場や体験会場を分けるなどの新型コロナ対応を行った。          新型コロナウイルス感染症感染対策として、新大阪までの送迎バスを1台追加した。          その分費用負担が増えるので、九州でのバスガイドをなくした。          また、食事方法の改善、おやつ摂り方や回数制限、体温測定の実施、手指消毒の徹底などを行った。</p>

<p>宿泊を伴わない日帰り旅行に変更し、感染予防を徹底した。 Gotoトラベルキャンペーンの利用により旅行費用を抑えたが、制度の周知が十分でなく、利用にかかわり旅行業者と費用の連絡調整に苦労した。</p>
<p>北九州方面の修学旅行を当初6月に実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大状況より11月上旬に日程変更したが、感染状況が継続したため、近畿地方方面の日帰り修学旅行に変更した。修学旅行の主な目的を平和学習から歴史学習に変更し、事前事後学習を行うとともに、平和学習については実施時期をずらして現地学習中心のものから大阪にて学ぶ学習へと変更した。 3日間の修学旅行を1日間(日帰り)の修学旅行に変更したため、さらに一日、日帰りで3年生は校外学習を実施した。バス利用・経費一人あたり8000円程度。 日帰り修学旅行ならびに校外学習ではGoto給付金を活用した(上記旅行費用には給付金にての割引を計上していない)泊を伴う旅行を中止した代わりに日帰りを2回実施した3.最終案の状況以外に大阪市内のフィールドワークを実施</p>
<p><b>感染防止対策</b></p>
<p>当初バス2台で計画していたが、1台増台し計3台で実施できる限り密を避けるようにした 感染症予防を徹底し、バスの増便や座席の配置など工夫した。 また、体験や宿泊先でも体調管理や密集を避ける取り組みを行った。 移動中のソーシャルディスタンス確保のため、バスの台数を定員の2倍分、用意をした。</p>
<p>日帰り体験旅行(2回) ①神戸の文化と歴史を学び散策(南京町・北野異人館・メリケンパーク・カワサキワールド・阪神淡路大震災メモリアルパーク等) ②動物に触れ、アトラクションを楽しむ姫路セントラルパーク(サファリ・アトラクション)</p>
<p><b>新型コロナウイルス感染症対策</b></p>
<p>3密を避けた3つの体験活動を実施した(1日目:陶芸、フィールドアスレチック 2日目:カヌー等3つから1つ選択) 参加者64名が貸し切り大型バス3台(1台あたり21名程度)で移動、密接を避けた。 部屋割について、一人当たりのスペースを多めにとって大きめの部屋に変更したり、人数を減らしたりした。 食事の際、ビュッフェスタイルは極力避けたが、変更が無理な所は、トンクなどの道具を共用しないように各自にもらった</p>
<p>コロナ感染症に対する不安をできるだけ軽減し、できるだけ多くの生徒が参加できるように近場、日帰りの校外学習に変更 往復のバスの停車休憩回数を増やした 昼間のクラスオプションの室内での体験活動等をやめて、宿舎周辺での屋外の活動を増やした(屋内での活動をしないこと、移動 時のバスの乗車回数も減らすことができた) 夜の屋内活動を屋外での花火等にした 入浴の時間を倍以上にして、1回に入る人数を少なくした 消毒スプレーを各自一つずつ持たせるなどコロナ感染防止対策の徹底。</p>
<p>コロナの影響により、2学期に実施した</p>
<p><b>感染予防対策</b></p>
<p>COVID19感染症発生時に備えて、引率教員を1名増員した。 万一の場合の対応について、旅行業者を保護者説明会に出席させて説明をさせ、その上で参加についての同意書の趣旨を説明し、提出を求めた。</p>
<p>宿泊先の変更(民泊不可の為)により宿泊費用が増加したが、 Go To キャンペーン(クーポン利用できず3割5分割引のみ)により、結果的に15532円安くなった。 バスの台数を増やした。 感染防止対策を事前に旅行業者と協議した。GoToトラベルを利用するため、保護者への説明文書を事後に配付した。 地域クーポン券を使用するため、お小遣いの額の上限を少なく設定した。 超大型バスを利用し、生徒同士が隣り合わないように、座席の工夫をした。</p>
<p>3において「旅行費用」の内訳を記載しましたが、GoTo割引を活用し、最終的には記載金額の合計から生徒一人当たり概ね6,000円安くなりました。 したがって、6の「下がった」金額も最終的には更に6,000円程度下がることになります。</p>
<p>Gotoキャンペーンを利用して、移動バスを1台増やして密を避けた。 3密を避けるプログラム、移動方法、宿舎・施設での手指の消毒、部屋の広さなど、細部に配慮した。 GoToキャンペーンを活用し、保護者の負担を軽減した。 また、代替行事の日帰りを2回行うことで3年生の学校生活にメリハリをつけることが出来た。</p>
<p><b>新型コロナウイルス感染症防止の観点に気を遣った</b></p>
<p>コロナ感染拡大防止のため、バス内ではできるだけ窓を開け、目的地も屋外での活動となるように設定した。 日帰りで、宿泊を伴わない旅行に変えた。 感染防止対策に細心の注意を払うことに随分労力が必要であった。 コロナ感染状況によって、旅行社と協議を行いながら、2回の延期をおこなったが、最終的に教育委員会の指示による中止となった。 代替行事として校外学習を日帰り2日間開催することで、生徒たちには意義のある活動となったと感じた。 宿泊は無しで、連続した2日間を日帰りで実施した。 コロナ禍による中止のため代替行事の選定に苦労した。</p>
<p>バスの台数を増やす。1クラス1台。ホテルの貸し切り。食事場所の貸し切り。消毒用アルコールの準備。 1泊2日の期間中の生徒発熱時等の対応を熟慮して、近場での実施に切り替えた。 感染予防対策の徹底、共有 活動が密にならない体験的なこと。公共交通機関を利用しないこと。万一の時、保護者が迎えに来ることができること。</p>
<p><b>新型コロナウイルス感染防止対策の徹底</b></p>
<p>GoToキャンペーンの活用による経費削減</p>
<p><b>感染症対策の徹底</b></p>

感染症対策の徹底
実施前アンケートの実施
近いところで生徒が楽しめる場所
訪問先での活動場所が野外となるような行程を考えた。
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、できるだけ感染者数の少ない府県を考えた。 公共交通機関の使用に不安があるため、全行程をバスで行くこととした。 車内での密を避けるため、村内から五條市までは、中型バス2台、五條市からは大型バスに乗せた。
密を避けるための交通手段や見学先の選択。 宿泊場所や食事場所のコロナ対応の確認。 入浴については、大浴場の使用はせず、部屋のお風呂で対応 参加者、一人ひとりについて、毎朝の検温の実施・消毒液の配布 見学場所でのコロナ対応についての生徒への説明と指示
可能な限り、新型コロナウイルス感染予防の対策を講じた。 ・バスの乗り降り、見学地・体験場所における検温 ・就寝時・食事以外のマスクの着用 ・往復バス移動 ・3泊から2泊へ ・本県から近隣地への変更
校内・家庭での感染予防対策の徹底
見学先の選択
コロナ禍ということもあり、万一の時に保護者に対応していただける距離とその時点で感染者が出ていない地域とを考慮して、奈良県南部を修学旅行先に決定した。 非接触型検温計による定期的な体温測定を行った。 旅行先までの移動手段を貸し切りバス(大型バス)にし、2席に1人の割合で座るようにした。 ホテルの部屋数を増やし、密を避けた。(定員の3分の2程度) 生徒に発熱症状が出たときの対応のために養護教員を引率者として同行させるなど、例年より引率者数を増やした。
活動に体験学習を、コロナ感染予防に配慮しながら取り入れた。
変更について、最終結論を出すため、説明会の開催、参加の是非、保護者の思いを丁寧に確認した。
新型コロナ感染防止や緊急事態宣言の発令状況を見ながらの対応に苦慮している。
地域クーポン利用で食事代やお土産代にあてられた。また、GoTo割引で旅行代金が安くなった。
当初予定での日程、場所から変更した時点で日程や場所が変更できるような行程を組んだ。本校は生徒数が少ないので予約等が比較的安易だったが、多人数の学校では大変だったのかと思われる。 できるだけ人と接触しない校庭や利用者が少ない体験場所を選んだ。
観光は、クラス別に分散した。 屋外体験活動を中心に計画した。 体調不良になった生徒への対応。
3回目の変更となったため、準備についてもあまりできなかった。 そのため教師が引率して見学をしたり、比較的狭いエリアでの班行動とした。 また、不特定多数の人が集まる、駅、列車等をやめ、貸し切りバスで行ける範囲とした。
海のない奈良県であるため、海体験を最優先にした行先を考えた。 生徒の中に感染者や濃厚接触者が出た場合を想定して、保護者が迎えに来れる範囲(車で2時間半以内)で行先を検討
新型コロナによる中止
考え得るコロナ対策を講じ、丁寧に生徒・保護者へ説明した。 それでも不安で参加できない生徒には、代替の活動として自主学習の課題を作成した。
安全確保のため市教委の指導もあり県内の宿泊施設に宿泊したが、 教員の宿泊代金が高すぎて旅費から払いきれない状態になっている。 今後、個人負担になるか市教委が負担するのか心配である。 県内でコロナ対応が十分できているという理由で選んだホテルである。 また、企画契約時でGOTOキャンペーンが使えると見込んでいたが、教職員は適応外と後からでできたことが原因であ
感染防止対策(部屋割り人数 食事 バスの台数 看護師同行 現地医療体制及び搬送等)
健康管理
短くなった行程で、どのような内容を盛り込むか。
宿泊地を県内にすることで、方が一体調を崩したり、発熱したりして保護者が迎えに来る際に、できるだけ、負担を軽くした。
感染予防のため、各地の保健所の情報や、観光地や宿泊場所の情報を収集し、ガイドラインを作成し、保護者に知らせ 万一、生徒に発熱やその他体調不良がみられ、保護者等のお迎えが必要と判断することとなった際を想定し、宿泊地を奈良市内とした。 また、市教育委員会からの判断指示を受け、見学行動地を近府県とすること及び宿泊日数を一泊とすることとした。
いざというときの、保護者が迎えに来れる距離 宿舎で密にならないように、貸切の分宿 移動に公共機関を利用しない。 健康管理の徹底 拍数を減らした。

<p>出発の二週間前から同居家族の検温を含めた健康観察を行う。 行程全般で生徒が体調を崩した場合でも保護者が迎えに来れるところを選ぶ。 宿泊は、一部屋2名とし、食事のサービス(給仕)は生徒が行うのではなくホテルの従業員に任せた。 全て。 宿泊をなくし、日帰りの体験・イベントを2日間実施した。 新型コロナウイルス感染症対策のため、食事場所、体験学習の場所での徹底した消毒に全員が心掛けた。 全行程、貸し切りバスで移動。片道4時間以内。 コロナ禍における緊急事態を想定し、旅行会社に添乗員を増員してもらい実施した。</p>
<p>居住地及び訪問先の感染状況を詳細に確認した。 感染防止の観点から、体験内容、宿泊地を精査した。 結果、民泊を取りやめ、ホテル連泊とした。 終日バスを使用、及び増便し、感染リスクを低減した。</p>
<p>保護者アンケートで半数が泊を伴う旅行に不安を持たれていたため、代替としての日帰り遠足の形で実施した。 生徒や保護者への丁寧な説明、対応をしたつもりです。 民泊をなくし、2泊ともホテルを全館貸し切りに変更し、感染予防を徹底することで、保護者の理解を得ることができた。</p>
<p>公共交通機関を使わない コロナウイルスの感染防止のために</p>
<p>①バスの休憩機数を増やし喚起を徹底する。 ②バスの昇降時に手指消毒(業者用意)、施設入室退出時に手指消毒(施設用意) それ以外の場面でも不安がある時に手指消毒できるように各個人に個別の消毒ボトルを持ち物に設定した。 ③そらの郷(民泊)活用のため2週間前~2週間後までの行動記録をつけてそらの郷側と学校側両方からの情報提供を行う。 ④持ち物に体温計を設定。各時間(起床就寝時、活動前後(バス乗車時・降車時))に検温を実施。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止の徹底 目的地、日程等の変更による本校の修学旅行の目的の達成と生徒のモチベーションの維持 コロナ対策を入念に行った。特に、飲食の場所・方法等。</p>
<p>公共交通機関を利用して移動するため、体調不良等コロナ関連で保護者に迎えに来てもらうことが厳しい状況であり、第2波の状況下でもあり中止に至った。</p>
<p>中止決定については、北葛城郡4町8校の校長会の意向を汲んで、4町教育長会議にて最終決定された。 当時の社会は、第一波が見通しの付かない状況であったため、地域始め保護者・生徒には一定の理解を得た。 保護者感情を鑑みれば、感染については、安全安心の担保することが最優先されることではあるが、近隣の郡内中学校については、足並みをそろえた方向性が求められることも事実である。 沖縄の修学旅行の代替案として、各校“日帰りの思い出旅行”を計画している。</p>
<p>3密を防ぐため、公共交通機関を使用しない等、バスで行ける所に変更した。</p>
<p>感染防止対策の徹底 バスの台数追加 佐用町では、佐用町連合として修学旅行を実施している。コロナ禍の中で、担当者会の回数を増やし、情報交換を密にした。</p>
<p>コロナ対策が大変であった。</p>
<p>感染予防対策として看護師の帯同を依頼した。 感染予防対策グッズの準備 各生徒に配布したもの(除菌用アルコールスプレー・除菌シート・マスク3枚)</p>
<p>佐用町の中学校は、何処とも生徒数が少ないため、4中学校で「佐用町連合修学旅行団」を組織しています。 5月に関東方面の修学旅行を予定していましたが、早々に見直しを図り、旅行者(JTB)や近隣の中学校から情報収集をしながら、 4中学校で繰り返し協議を重ね、時期・場所等を検討しました。 1か月前にJTBにも同席をお願いし、修学旅行保護者説明会を各中学校で実施し、同意書の提出を求めました。 現地で体調不良者が出た場合の対応として、教育委員会から1名同行していただいた。 事前に校医の先生のアドバイスを聞きしたり、学校薬剤師さんの感染予防についての講義をしていただいたりした。 市内班別行動を取りやめ水族館の見学に変更した。</p>
<p>新型コロナウイルス対応として、原則交通機関、体験場所等は貸し切りをお願いした。</p>
<p>新型コロナウイルス感染が広がっていない地域で、修学旅行の思い出として相応しい地域を検討し決定した。</p>
<p>実施の判断を学校に求められた。結果的に2度の延期により実施。実施判断やキャンセル料の支払い方法について、教育委員会との協議は難航した。 代替旅行の感染防止対策は、万全を期して望んだ。</p>
<p>感染予防対策をいかにとるか。 バスで移動する際、バス内での密を避けるために、手配するバスの台数を1.5倍に増やした。</p>
<p>感染症対策 日程調整(外部の団体に活動している生徒の大会日程などの考慮、他の行事との調整) 保護者への説明 業者とのこまめな打合せ 他学年との授業などの調整</p>
<p>新型コロナウイルス感染症のため、姫路方面への校外学習を行った。貸し切りバスを各クラス1台で利用し、空調による換気に加え、高速道路走行中はSAで10分程度の換気のため停車した。 密を避けるために、班別活動を中心に、1か所に多くの班が集まることがないように時間差で見学できるよう配慮した。 また、屋外での活動が中心になり、昼食を1方向で食べるように指示した。</p>
<p>新型コロナに感染した場合に保護者に迎えに来てもらえるよう学校から3時間でいける信州方面へバスでいく行程に変更 保護者説明会を開催する際に、新型コロナウイルス感染予防対策の説明として、企画旅行会社に来校していただき、会社側からの説明もしていただいた。</p>

<p>感染症対策として、アルコール消毒や換気の徹底、また部屋の割り当てを2・3人部屋に変更しました。1泊2日に変更した分、美観地区観光やサイクリング、また藍染体験や美術館観光や渦潮観覧など、例年より体験活動を数多く取り入れました。</p>
<p><b>新型コロナ対策</b> 安全・安心を最優先に考えた。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を第一に考え実施した。          方面は感染者数が少なく思い出に残る所、内容を検討し決定した。          感染防止対策を常時実施した。マスクは常時着用させるとともに、新幹線車内ではフェースシールドも併せて着用させた。          新幹線車内、バス内、宿舎内、各部屋のの感染防止のために除菌・抗菌材を噴霧した。          お菓子を食べながら話をするをやめさせるために、新幹線車内・バス内のお菓子禁止。          新幹線車内の向かい合わせ禁止。ホテル内・バス乗車時・見学地・食事前等において、常に手洗いと手指消毒の実施。</p>
<p>バスの乗車率を50%にするために利用のバスの台数を増加した。          感染症対策の整った場所に限定した。(自由行動はパーク内のみ)          修学旅行に行くにあたり保護者への不安解消するための予防方策を充実させた。</p>
<p><b>新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ手立て</b></p>
<p>新型コロナウイルス感染症予防を第一に考えた          定説な時期にその都度、PTA、生徒、保護者への説明を心がけた          保護者説明会をもってアンケート調査を行い、行き先を決定した。</p>
<p>バスの乗車率を50%にするために、利用のバスの台数を増やした。          感染症対策の整った場所に限定した。(自由行動はパーク内のみ)          修学旅行に行くにあたり、保護者への不安を解消するための予防方策を充実させた。</p>
<p>2泊3日の予定を日帰りに変更した。バスの台数を増やし、座席間をあげた。食事のときの消毒に気をつけた。</p>
<p><b>新型コロナウイルス感染症対策</b></p>
<p>旅行業者との打ち合わせ回数を増やし、こちらの要望とのすりあわせを行った。</p>
<p><b>新型コロナウイルス感染症予防の徹底と見学予定地の状況把握</b></p>
<p><b>GOTOキャンペーンの活用</b></p>
<p>感染予防に気をつけるとともに、訪問地でのマナーに配慮した。          GoToトラベル利用のため、クーポン利用方法等事前指導に配慮が必要だった。          総額では7万円を超えていますが、GO-TOで2万5千円ほど安くなり、総額4万7千円ぐらいで済みました。</p>
<p><b>新型コロナ対策を徹底した。</b></p>
<p>感染症対策を可能な限り行った。          目的に平和学習を導入した。</p>
<p>当初、1泊を民泊としていたが、感染症対策によりホテルに変更をした。          長崎市内の班別行動において、班ごとにタクシーを活用する方向も検討していた。          しかしながら、修学旅行実施に至らなかった。</p>
<p>身体面で配慮が必要な生徒がいたため、大きな病院の近くにホテルを予約した。</p>
<p>感染予防対策を徹底し、健康観察をまめに行った。行程にゆとりを持たせた。</p>
<p>感染症対策として、方が一の場合の送迎ができるところへ行き先を変更し、同じ宿舎に連泊。          バス移動は1時間に1回休憩し、余裕のある行程を考え、活動内容の見直し等、細心の注意を払った。</p>
<p>感染症対策を明確にした。市内中学校と教育委員会で連携し、キャンセル料などの特別予算を編成していただいた。コロナ感染があった場合は、人権に配慮して全額キャンセル料を市が負担するということがあった。          とにかく旅行社と連携を密にし、感染症対策に努めた。また、保護者・生徒にも丁寧に説明した。</p>
<p><b>交通機関内やホテルでの感染症対策を徹底した。</b></p>
<p><b>新型コロナウイルス感染症予防対策に終始した。</b></p>
<p>6月2日から2泊3日の東京への修学旅行であったが、コロナ感染のため11月への延期を決めた。          その後、さらに市教委からの要請で、日帰りでの実施となったため、日帰り旅行を2回行った。          go-toにより費用負担は少なくなったが、感染防止のための配慮が大変であった。          生徒たちもコロナの状況はよく理解しており、2回の実施によりある程度の満足は得ることができた。</p>
<p>密を避けるため、バスを1台増便した。</p>
<p>コロナ感染拡大予防対策を徹底した。</p>
<p>感染症対策のため、主要交通機関を貸し切りバスのみとし、公共交通機関の使用はしなかった。          それ以外にも見学先、昼食会場等にも感染症対策の徹底を依頼し、できるだけ安全に旅行ができるよう配慮した。          また、その旨を保護者にも伝え理解を得た。</p>
<p>消毒の徹底、バス内での会話の制限等感染対策に留意した。</p>
<p>バスの台数を増やした</p>
<p>貸し切りバスの移動により、不特定多数の人々との接触を避けた。</p>
<p>不安感の払拭          宿泊の取り止め          保護者説明会による同意確認          安全対策の徹底</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策(マスク着用、消毒、できるだけ物に触らない等)          延期・内容変更に伴い、生徒・保護者にアンケートを行い、意見を参考に旅行計画を立てた。</p>

GOTOトラベルが利用でき感染予防対策のためバスの台数を増やしたり、ホテルの部屋割り人数を減らした。生徒の費用は28,000円減額できたが職員の費用は9万以上かかり旅費には上限があり個人負担しなければならなかった。
宿泊日数を短縮し、保護者の迎えが可能な場所を選定した。
地域クーポン使用開始日だったので、生徒一人12000円分のクーポンがもらえた。その為小遣いを1万円としていたところを5千円にした。12000円分から4千円分を全員お土産セットにした。バスを1台追加し食事バージョンアップした。
三密をさけるため、宿泊を省き日帰りとした。 (仲間づくりを優先させ、ユニバーサルスタジオジャパンのパーティパックを活用した) gotoキャンペーンを活用し、旅行費用から一人当たり7000円減額した。また、小遣いの他にミルククーポン3000円を配布し部屋ごとの人数やバスの座席に余裕を持たせた。
○保護者の同意を得るために、丁寧な保護者説明会を行った。 ○生徒の自由行動の飲食を制限した。 ○新型コロナに対応した保険に加入した。 ○GO To キャンペーンで安くなった費用を、バスの台数を増やすのに使った。
新型コロナ対策
新型コロナウイルス感染症の対応として、公共交通機関を使用せず貸し切りバスを使用した。 3日間の日程を2日間とした。
新型コロナウイルスに関しての行き先の検討と移動方法による安全確保を行った。 養護教諭プラス養護補助員の引率者増員を行った。
コロナウイルス感染症対策とそのお知らせ
バスの乗車時間が長時間にならないように休憩場所、利用する施設、昼食場所などを決定した。 文化体験(阿波踊り体験・見学)など、学習面を取り入れることを重視した。 出会った方々を感謝を伝えるとともに勇気づけようという目的で、手話(愛は勝つ)を取り入れ、披露した。 班別活動を取り入れ、全体での取り組みをあまり取り入れないように計画した。 感染症対策として、バス台数を当初より増やした。一部屋の宿泊人数を少なくした。
感染対策を徹底した
新型コロナウイルス感染を防ぐために、部屋割りや食事会場など比較的広いスペースをとり、感染防止に全力を尽くした。 感染リスクを考慮して、移動を短時間にした。
感染防止対策を十分に行った。(個別の食事、検温、消毒、時間的余裕、教員の人員増員など)
新型コロナウイルス感染予防
徹底した感染予防対策
コロナ感染対策
バスの台数を倍にした。ホテルの部屋の定員を最大3名にした。各部屋に空気清浄機を入れた。
感染防止対策
12年時の校外学習や野外活動の成果である、判別研修や民芸品制作の実施
新型コロナウイルス予防(マスク着用・アルコール除菌の徹底)
秋の実施となったため、他の行事などとの日程調整に苦労した。
300キロ以内40時間で往復できるところ その中で200人が泊まれるところ
コロナ対策
感染対策
GoToキャンペーンで14000円の割引となった。地域クーポンが6000円交付された。(生徒1人あたり)
バスの台数を増やした。近距離圏内とした。
3つの密を避けるための工夫を実施した。 できるだけ生徒が楽しく活動できるように計画を立てた。
1, 2年の野外活動との繋がるよう考えた。 コロナ感染拡大防止対策確認のため、下見を入念に行った。 生徒、保護者の意見を尊重した。
感染症対策(マスク、消毒等)、活動内容
感染防止のための、検温・消毒・マスク・会話を控える、食事場所・宿泊場所・活動内容等の配慮。
新型コロナウイルス対策に気を使った。 バス座席に余裕を持たせたり、入念な健康チェック、手洗い・消毒等の声かけに気を配った。
貸切バスの増便
コロナ禍での生活のストレスや宿泊数も制限されたことにより、生徒たちが存分に体を動かすプログラムに変更した。 可能な限りの感染防止策を講じた上で、生徒の満足度を最大限に高める内容を選んだ。 不参加生徒への配慮(出発前の綿密な意向確認と旅行先の事前学習を極力減らしたこと)
出発直前に感染者が出た場合の対応。 こまめな休憩と手指消毒。食事の際の座席の配置など。
生徒の移動など、極力他団体と接触がないよう、配慮した。 万が一のことを考えて、保護者が生徒を迎えに来やすい場所を設定した。
感染予防策を交通機関、バスの利用において徹底。三密会のため、宿泊場所でも広い食事会場の確保、個食、パーティションの設置、大浴場の貸切、部屋での入浴も可などできる限りの対策ができる事を条件に行先を決定した。 プログラム面でも、各クラスごとに行先を選択するなど、300人が同じところで行動しないよう、分散して活動させた。
感染対策のためゆとりをもったプログラムにした。 密を出来る限り避けるため、班別行動の時間を多くさせた。

<p>神戸市からの指針に基づき、一泊二日で神戸から概ね300km圏内で目的地の希望調査を取り、10月上旬に四国方面の修学旅行を実施することができた。 解散時間が遅くなったこともあり、校区内の数か所で時間差解散を行った。</p>
<p>感染防止の徹底(検温・手洗い・手洗い・マスクの着用等)</p>
<p>限られた日程の中に班別行動、サイクリング、学年レク、クルージングなどをプログラムに組み込んだ計画</p>
<p>感染リスクを下げるための手立て。</p>
<p>消毒などの感染症予防対策を念頭に方法を模索しながら、何とか実施できた。</p>
<p>生徒にとって思い出に残るよう、コロナ禍でも楽しめるプログラムを行った。</p>
<p>特記事項なし</p>
<p>新型コロナ対応、貸切施設や対応を行なっている施設のみ利用。 不特定多数の人と交わらないようにした。大浴場の利用のないホテルに宿泊した。</p>
<p>全行程をバスで移動し、ラフティングを行うなど自然体験を増やし、学校外の人との接触を極力避けた。 GOTOキャンペーンを利用を前提にし、1泊2日に宿泊日数が減った分プログラムを充実させるために金額を増額して予算を立てた。</p>
<p>三密を避けるなどコロナ対策。</p>
<p>新型コロナ感染拡大予防対策について、バスの台数を増やしたり、宿舎での部屋割を少人数にしたり、様々な活動で細か配慮を行った。</p>
<p>ゆったりした時間配分、体験活動中心、三密回避等</p>
<p>感染防止対策として、バスを通常の倍の台数手配した</p>
<p>密を防ぐため貸し切りバスの台数を当初の2倍にした。</p>
<p>検温、健康観察、マスク着用。 下見を綿密に行った。 情報収集に力を入れた。</p>
<p>全行程バス移動となったので、車内での密集を避けるため、乗車人数を定員の半分ほどに絞り、バス台数を増やした。</p>
<p>旅行者と連絡を密に取り合った点。</p>
<p>新型コロナ感染症対策の徹底(消毒、換気、三密回避等)</p>
<p>余裕のある行程設定</p>
<p>新型コロナウイルス感染予防に配慮し、生徒にとって健康上無理のない行程にした。 各施設、宿泊場所と連絡を取り合い、感染予防対策をとってもらえるようにした。 交通機関においても感染対策を行った。 食事の際は、密を避けるために、2回転にしたり、2会場に分けたり、各部屋で食事をしたりした。また、対面を避け、できるだけ 間隔をあけて席に着けるようにした。 宿泊場所では、密を避けるため、一部屋当たりの人数を例年よりも少人数にした。 当初の行程に代わる魅力ある体験活動ができる行程にした。 感染予防しながらクーポン券が利用できるよう、本校生徒が貸し切りの食事会場にお土産を並べてもらい、密を避けて購入できるようにした。</p>
<p>行き先の検討 日程の調整 体験活動等、決定までに時間をかけ検討した。 保護者説明会を行う。(行き先や日程変更に関する説明と同意について) 検温は本人、家族ともに事前・事後とも2週間実施。 手指消毒、マスク着用の徹底。 バスの台数を増やした。(本来は2台のところ、3台に増やす) 一人ひとりに消毒用のアルコールを持たせる。 新幹線は、席の移動なし、全員前向き of 徹底 等。</p>
<p>保護者の納得の元出発できるように、説明会では、各施設の感染予防対策をしっかりと調べて説明した。 生徒のためできる限り、安全な時期・場所・日程を考えて設定した。</p>
<p>Gotoキャンペーンで18401円、広島県より助成金2000円が支給された。 また、地域共通クーポン券7000円分が支給された。内1000円分は旅行代金に転用できた。</p>
<p>①宿泊室の人数を減らす。 ②食事の際のソーシャルディスタンス。</p>
<p>感染症対策 移動距離の短縮 バスの増便</p>
<p>三密状態帽子に力を入れた</p>
<p>生徒やその家族の命と健康を守ることを最優先に考え、地域や保護者の方々、生徒の意見を聞きながら熟考を重ねた。</p>
<p>1 早めの行き先変更決定(県内・1泊2日)により、全く混乱はなかった。コロナ不安による不参加もなかった。 2 多くの保護者から、この状況の中で修学旅行を実施したことに対して感謝の言葉をいただいた。 3 出発2週間前と前日に、3年生保護者宛に実施可否判断の状況報告をメール配信にて行い、保護者の不安払拭を図った。 4 Gotoキャンペーン適用となり、軽減され費用を卒業諸費に回すことで保護者の金銭的負担が軽減できた。</p>
<p>バスの台数を増やした。 ペンションの分宿、連泊にすることで密になることを回避した。 屋外での体験活動をメインとした。</p>
<p>バス移動のため、移動時間を2時間30分以内、バス内マスク着用、緊急の場合に保護者が迎えに来れる距離内、ホテル</p>
<p>密を避ける工夫を行った。 ・バス座席 ・部屋割り ・食堂座席 ・おやつ 熱中症対策を行った。 ・生徒の持ち物 ・学校側の準備物 ・宿舎等へのお願い</p>

<p>バスの増台  バスガイドをやめた(静かに過ごさせるため)  食事形態(一方向を向き、空間を確保)  ホテル室内の湯茶(コップをやめて紙コップに)  バス移動中の休憩(学年を2つに分けて休憩するSAを設定)  プログラムの全てを屋外のものにし、班活動を基本とした  新型コロナウイルス感染症による不安を少しでも解消できるように、行き先、内容を検討した。</p>
<p>①新型コロナウイルス感染症対策としてバスの台数を倍にし、無言乗車とした。  ②食事の座席は正面向きに統一し、夕食はマナー講習を行なった。  ③宿泊時の部屋内人数を減らした。  ④学年レクなど、全体で集まる機会をできるだけ減らした。  ⑤民泊は中止した。</p>
<p>民泊を予定していたが、コロナの対策ができにくいいためやめた。  現地までの往復に使用した貸切バスの台数を1台増やし、生徒同士の座席の間隔が1席空くようにした。  宿舍の部屋における生徒の密集を避けるため、1部屋に入る生徒数を最大3名までとなるようにした。  ソーシャルディスタンスを保つため、バスの場合、食事会場の二部制使用など。</p>
<p>コロナ感染対策として、乗り物乗車時、活動時のマスクの着用を徹底した。また、食事時は対面にならないようにし、会話も極力控えるように指導し、学校生活の時から徹底して指導した。  コロナキット(マスク、除菌ジェル、除菌シート、マスク捨て用袋)を全員に用意していただいた。  保護者説明会で、感染症対策について説明し、家庭にも協力を求めた。</p>
<p>感染防止対策について旅行社と詳細に打合せ。  除菌グッズの準備。  大浴場を使用せず、部屋風呂のみ使用。  出発2週間前の健康チェックの徹底。</p>
<p>コロナウイルス感染症対策に、考え得る可能な限りの取り組みを行った。  子供たちの安心・安全を第一に考え、校長会を中心に何度も検討し、教育委員会の指示も仰ぎながら、最終決定を行った  感染防止策に努め、バスも間隔を空けて座れるよう台数を増やした。</p>
<p>旅行業者と旅行先、宿泊施設のコロナウイルス感染症対策について相談・協議を行った。  新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるため、バスを1台増便(市費)し分散して乗車させた。  個人用としてコンパクトな消毒用アルコール、除菌シート、フェイスガードを購入配布した。  携帯用アルコール消毒液の持参、検温等こまめにし、感染症対策をおこなった。</p>
<p>感染対策が徹底できるよう配慮した。市からの交付金でバスを増便できたことで、多少不安は解消できた。  マスクの着用・消毒・検温等の徹底</p>
<p>市教委が感染予防対策費を経費の20%まで補助してくれたため非常に助かった。  地域共通クーポンも利用できたため、生徒がお土産購入の補助に使うことができ良かった。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明会の実施はなし。  感染防止のため、バスの台数1台増便  日帰り実施</p>
<p>川下りの船を貸しきりにして、他者との接触を回避した。  生徒一人に一本消毒用スプレーを持たせた。  以上の費用は市の感染対策費から支出。  行き先を近場でバスで行ける範囲にした。</p>
<p>実施の可否を問う保護者アンケートを行い、日帰り旅行に変更を決定した。  そのお知らせについては、合同説明会ではなく、個人懇談の折に一家庭ずつ、その家庭の考えに応じて説明内容を工夫しながら、納得してもらえるように説明した。  その効果があったのか、町内の他校と異なる旅行形態になるが、異論はなかった。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策。バスの座席を1人2座席。手指消毒、マスク、検温等。</p>
<p>感染症対策について、具体的に提示できるよう旅行者及びホテルと綿密に打ち合わせをおこなった。  また、保護者説明会に旅行会社の担当者へ出席してもらい、具体的な安全対策や想定事項の説明を行った。</p>
<p>密を沙避けるためバスを増便した</p>
<p>密を避けるためにバスを1台増やし3台にした。  県内実施とした。  食事は全員前向きとした。  宿泊の一部屋の人数をできる限り減らした。  体験等の活動は屋外のものを選んだ</p>
<p>日程を短縮(3日間→2日間)したが、目的地を近隣地として移動時間を短縮し、生徒の実活動時間を確保した。  GoToトラベル事業を活用し、経費の縮減を図った。(3で回答した費用から-10732円となった。)</p>
<p>県内への日帰りバス旅行とした。</p>
<p>コロナ禍で感染防止のため近距離での移動とした。バスの追加、食事を弁当にして外で食べるようにした。</p>
<p>日帰りになったので、夕食を食べての帰校とした。  帰着時間が遅くなるので、金曜日の曜日設定を行った。</p>
<p>感染予防の徹底</p>
<p>新型コロナウイルス感染要望対策をできる限りのことを実施した。</p>

<p>宿泊のない日帰りでの実施となったが、しおりを作成するなど、雰囲気づくりを行い、生徒が満足できようになるように心がけた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策のため、バスの台数を増やす、マスクの着用、消毒を徹底するなどの対策をとり実施した。</p> <p>旅行先については、感染リスクが少ない場所を考へ、保護者代表である学年委員さんと相談し、アンケートを行うなど、小人数ではあるが、往復とも大型バスを利用、宿泊も一人一部屋と、旅行中も接する機会を極力少なくした。</p>
<p>行き先、日程の検討</p> <p>緊急時の対応やコロナ感染防止等の対策</p> <p>保護者への理解と協力等の説明</p> <p>バス内の密を避けるため、1台につき20人程度で乗車</p> <p>日帰りで行くことができるよう、計画を変更した。</p> <p>バス移動であったが、密を避けるため、バスの乗車人数を制限した。</p> <p>屋外での体験活動に限定した。</p> <p>市が補助金を出し貸切バスの台数を増やすことで、1台あたりの乗車数を減らして実施した。</p> <p>バスを増便し、座席の配置が密にならないように工夫した。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>①移動時間の短縮や屋外での活動場所を選考。</p> <p>②活動要所におけるアルコール消毒を実施。</p> <p>③マスクの着用と三密を避ける活動形態。</p> <p>移動時の感染症対策、現地での活動時における感染症対策などの確認作業に多くの時間を費やした。</p>
<p>新型コロナウイルス感染防止対策</p> <p>近郊でバスの移動で行ける場所を選択した。</p> <p>感染防止のための手立て(マスク、消毒、バス座席等)</p>
<p>感染対策の徹底</p> <p>感染対策として春実施予定を秋に変更、貸し切りバス利用に変更、行先も近畿圏内に変更</p> <p>感染拡大地域を行先から除外。全行程貸切バス利用、しかも1台で乗車できる2台貸切。</p> <p>部屋の定員の半分程度で宿泊。風呂は部屋風呂のみの利用。バイキング形式の食事を個食に変更。</p> <p>一人一人にミニの消毒スプレーを持たせる。マスク着用。</p> <p>事前・事後の健康チェックや、行先でのコロナ対応などに、特に注意深く取り組んだ。</p> <p>見学地の変更に伴い、社会科や総合的な学習の時間で事前学習を行い、学習効果を高めることができた。</p> <p>行先や交通機関の変更があったが、バス内の過ごし方やレクレーションタイムの設定など、生徒の思い出となるよう工夫を重ねた。</p> <p>全員参加できるよう但馬内で宿泊をしない、屋外施設中心と工夫をした。生徒は全員参加できた。</p> <p>生徒自身は代替遠足でも感謝の言葉を述べていた。</p> <p>ただ生徒には普段通り行きたい思いもあり、職員一同を声掛けをして心のケアに努めた。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の予防対策を丁寧に行った。</p> <p>密にならないようにバスを1台追加した。密にならないようにホテルの部屋数の追加等を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策として、活動においては3密にならないように注意喚起した。</p> <p>ソーシャルディスタンスの観点から班別活動は実施しなかった。</p> <p>参加するにあたっては、実施2週間前から特に健康観察、体調管理をするように促した。</p> <p>学校より、非接触型体温計、手指消毒用にアルコールを携行し、必要時に使用した。</p>
<p>日程を日帰りにし、食事等以外でのマスクの着用、施設や乗り物の入口では手指消毒等、コロナ感染予防対策に努めた。</p> <p>保護者が誰も反対がないような代替行事にする。(生徒の全員参加を目指す)</p> <p>バスに1時間以上乗車しない。</p> <p>1日であっても生涯、記憶に残る行事にする。</p>
<p>混雑状況</p> <p>実施時期</p>
<p>保護者事前アンケートにより行き先を決定した。</p> <p>昼食はバーベキューを中止し、弁当持参とした。</p> <p>マスク着用と手指消毒・手洗いの徹底、バス内での歌唱と大声禁止など感染予防対策に注力した。</p> <p>できる限り多くの生徒が、安心して参加できる場所、方法を選ぶこと。</p>
<p>県外への移動は避け、新型コロナウイルス感染確認の少ない地域を選んだ。</p> <p>時期については、新型コロナウイルス感染状況がある程度把握でき、中止になっても再延期ができる時期を選んだ。</p> <p>添乗員2名と緊急車両を用意し、急な発熱や体調不良に迅速に対応できるようにした。</p> <p>変更になったからといって、学びを後退させたくないだったので、戦争・原爆について学ぶ平和学習ができる「広島」に変更した。</p> <p>学校から姫路駅までの交通機関にバスを使用せず各自で集合するスタイルをとったり、</p> <p>2時間以内で移動できる場所を選択した。</p> <p>感染予防のため、バス乗車前に担当が消毒し、班別学習中は班ごとに消毒液を持たせた。</p> <p>食事会場では前を向いて、しゃべらずに食べさせた。</p> <p>人混みを避け、できるだけ感染リスクの低い場所を選びました。</p> <p>感染対策(マスク・消毒・換気等)。活動場所での密を避けるために、クラスごとのローテーションで活動場所を回した。</p>

<p>本校はまだ実施に至っていないので、工夫や配慮の予定を記入します。</p> <p>①参加・不参加の同意書の提出  ②こまめな消毒の実施  ③マスクの全員着用  ④バスの増台(20名につき50名収容可能なバスを1台配置)  ⑤食事時のソーシャルディスタンスの確保と食事用フィルターの使用  ⑥屋外での活動を中心とした計画  ⑦消毒スプレー等を各自持参  ⑧バス等密閉空間になりがちな部分の徹底換気</p>
<p>進路日程や学校行事との関連を考え、公立高校入試の後に実施することにした。  また、行き先の選定にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、近距離でありしかも戸外で体験できる施設を選定した。</p>
<p>昼食に屋外バーベキューを行ったが、食材は個包装、トングは個々で使えるように配慮した。</p>
<p>3密を避けて行動(バスの増便・食事はホテル・静かに見学し学習できる美術館)  コロナ感染防止の観点から、実施時期、旅行先、実施内容について配慮した。</p>
<p>出来るだけ県内で活動でき、日帰りながらも非日常を味わい、子どもたちが「芸術」、「自然」、「食」など、様々な学習内容を体験できるよう工夫した。</p>
<p>コロナウイルス感染症対策に苦心した。  ・バスでの移動時間が長時間にならないように計画  ・食事のとり方について事前に施設側と協議</p>
<p>バス移動中の密を避けるため、バスを増便し、座席間隔をあける。  実施時期について苦慮した。(11月実施 or 3月実施)  家庭の意向で不参加を決定した生徒への配慮(事前の準備など)</p>
<p>三密を避けることを最優先し、屋外であること、貸し切れること、移動時も含め一般の人との接触が少ないことなどから代替の行先を決定した。</p>
<p>入試後に、感染リスクの少ない近場を選んだ。バスの増便をした。</p>
<p>感染予防のため、阪神間を避け、県内の但馬地域に代替を実施した。  本来の修学旅行で班別学習活動があったため、同様に県内で城下町出石で班別学習を実施し、県内の文化や歴史を学ばせた。</p>
<p>様々な行事が中止や延期などが続き、生徒たちに我慢させることが多かったため、とにかく生徒が楽しめるように企画した。  そんな中で孤立してしまう生徒が出ないように、本部を設定し何かあればそちらに来て教師が対応するようにした。  特に孤立しがちな生徒は担任を始め、教師と一緒に食事したり、アトラクションに乗るなどし、</p>
<p>コロナによる休校当初より、時期の変更、行き先の変更等、市全体で協議を重ね、最終的に市教委の判断で宿泊行事の中止を決定した。  そこに至るまで、近隣市の状況や各校の動向、旅行者との確認などの情報収集や整理に相当のエネルギーを要した。</p>
<p>バスの密を避けるために、台数を増やして補助席の使用を禁止した。  人があつまり場所への修学旅行を避け、県内のコロナ感染者数の少ない地域での実施をした。</p>
<p>拍を伴わないが、生徒たちが楽しめるプログラムを取り入れた。  コロナ対策として移動は貸し切りの電車、バス、タクシーを利用した。</p>
<p>2泊3日の旅行行事に見合う内容の代替行事となるよう、学年団と旅行者が何度も連絡を取り合い、決定した。</p>
<p>○昨年度から修学旅行の目的である平和学習に重きを置いて学習を継続してきたので、感染防止策を講じつつ、代替地も平和学習のできる場所であることを第一条件にした。  ○担任がアルコール消毒液を携帯し、常に手指消毒を行った。  ○ホテルの宴会場でテーブルマナー講座を実施するにあたり、事前にホテル側と打ち合わせを重ね、生徒・保護者の不安を払拭できるよう努めた。</p>
<p>感染予防のしっかりしているところなどをピックアップした。  感染症対策を施した。バスも1台から2台にするなど。</p>
<p>感染防止対策の徹底。(マスク着用、アルコール消毒液の携行等)  バスの台数を通常の2倍に増やし、密を避けた。</p>
<p>○感染症対策  マスク、消毒、公共交通機関をやめて貸し切りバス、貸し切り宿、バイキング食事なし 等</p>
<p>3密回避。感染拡大地域への旅行の回避。  できる限り多く参加できるよう、県外1日、県内(近隣)1日を計画</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策について、バス会社・宿泊施設・見学場所等に対して質問事項を作成し旅行社を通じて回答をいただき、保護者に提示する中で参加申し込みをおこなった。</p>
<p>行き先について、発熱等の体調不良者がした場合に保護者の迎えが可能な場所を考えた。</p>
<p>コロナ対策、安全対策を第一に考えて実施した。</p>
<p>護者、生徒の意向を確認の上、同意書を提出。  事前の下見で宿舎、見学、活動場所の感染症対策を確認。  アレルギー対応の徹底。  不測の事態に対する対応について確認と保護者への協力依頼。  学校HPへ限定ページによる保護者向け情報公開。</p>

<p>食事会場や体験学習の分散、複数回の検温の実施等、感染症対策を入念に検討し、実施した。 また、その旨を保護者会にて説明した。</p>
<p>生徒の安心・安全を第一に考え、修学旅行の実施を考えた。実施に至る前に、保護者会を実施し、行き先の方面の変更を再度行ったことを報告し、新たな行き先とし、淡路・高知（四国）方面であるということもお伝えした。淡路・高知を選んだ理由は、保護者に迎えをお願いできる距離、緊急な場合に帰校できる距離であることを考慮した。 参加確認書を配布するときに、利用する全施設の感染予防対策を掲載し、保護者の理解を得られるよう工夫した。行程についても、一般の方との接触がないようにした。</p>
<p>コロナ対策におけるガイドラインをもとに、取組や緊急対応などを考えた。</p>
<p>明石市は、基本的には学校判断であったために、校長会で情報交換を行い、教育委員会にも相談した。 沖縄での平和学習が目的の主であったために、キャンセル料が発生するぎりぎりまで判断を遅らせたが、兵庫はもとより沖縄の感染が増加したことにより、沖縄を断念した。バスでの行先で、二泊三日で目的から協議し、近畿・四国・岡山でプランを10程の立て、学年で決定した。 変更後、もう一度保護者説明会を行い、参加確認を取った。</p>
<p>密を避けるため、バスの台数を倍にした。 県境を越えずに実施した。</p>
<p>新型コロナウイルス感染防止の確認と徹底を関係機関に依頼する。 生徒及び教職員等の検温を始め、体調管理をこまめに行った。</p>
<p>見学先（訪問先）をこまめに設定することにより、その間のバスでの移動時間をできるかぎり短縮するように行程を工夫した。</p>
<p><b>感染予防対策</b></p>
<p>バスの台数を増やし、密を回避した。</p>
<p>感染症対策として大型バスを利用した。中型バスとの差額分は町が負担してくれた。 バス内や宿泊先など、感染症対策を徹底した。 GO TOキャンペーンや県内キャンペーンで、旅行費用が4万円程度安くなった。</p>
<p>感染症予防のため、バスを二台から三台にし座席の間隔を広げた 就寝前と起床時に検温 食事をスクール形式にした 地元への旅行となるので体験型の活動を増やした</p>
<p><b>【感染症対策】</b></p>
<p>旅行先を距離的に近い場所に変更し、交通手段をバスのみにした。 より安全な見学施設や行程を選択した。 バスを1台増やして2人掛けに1人座るようにした。 ホテルでは、1部屋の人数を少なくした。 食事の方法は、より安全な方法を選択した。 1県内にした。 キャンセルしなければならなくなった場合や緊急時の対応について保護者に事前説明した。 修学旅行期間中のすべてにおいて新型コロナウイルス感染症対策を確認し、実行した。</p>
<p>コロナ感染予防対策。 保護者説明会（回数を増やす 旅行業者からの直接の説明）</p>
<p>医療関係・福祉関係に従事されている家庭で、宿泊はできないと判断された生徒がいたため、日帰り旅行と1泊旅行をそれぞれ計画して実施した。</p>
<p>感染対策ガイドラインを策定した。</p>
<p><b>感染症対策について</b></p>
<p>保護者にアンケートを実施し、変更後の行先についての意見を聞いた。移動手段を貸切バスのみとした。 感染予防対策の徹底。ホテルで過ごす時間が長くなるので、野外での活動時間を設けるなどの工夫をした。</p>
<p>コロナ感染症予防を徹底するために、バス、食事、宿泊について業者と念入りに打ち合わせを行う。 屋外での活動を多くした。 疲れのないよう連泊で余裕のある日程にした。</p>
<p>●新型コロナウイルス感染症対策 ・3日間貸し切りバスによる移動とし、他の旅行者との接触を避けた。バスに乗車の際に手指の消毒、換気、座席を空けて着席、マスクの着用を行った。 ・見学先では、手洗い・手指の消毒、マスクの着用を実施した。 ・食事の際は、可能な限り、対面で食べない等の対策を講じた。 ・ホテルでは、可能な限り、他の宿泊客と接触しないようにした。 ・ホテルでの部屋割り、1室の生徒数を少なくした。 ・入浴は部屋風呂を使用し、大浴場は使用しなかった。</p> <p>●見学先の決定 様々な観点（自然・文化・歴史・産業・環境等）で学習・体験ができるように検討し、決定した。</p>
<p>コロナ対策のため県内の体験学習実施に方向転換した。県内の魅力を再確認するいい機会になった。 感染対策に現地の情報を得ながら配慮した。レンタカーを借りて感染発生に備えた。 バスの台数を倍にした。</p>
<p>感染症対策と生徒の満足度が共に最高値をとれる場所を選択するという工夫を実施。 GOTOキャンペーンと県民キャンペーンの両方を利用して費用を安く抑えた。日程変更も早く行い、9月上旬に実施したことにかき密にならないよう行動し、特に食事においては、対面にならないよう配慮した。</p>

<p>生徒、保護者に不安を与えないように感染症対策や旅程について丁寧に説明を行った。</p> <p>保護者への丁寧な説明と行き先変更に伴う事前調査の実施。</p> <p>保護者負担を減らす努力(Gotoキャンペーンと和歌山県民リフレッシュプランを適用し41673円の値引きを得て、保護者負担は20845円とした。)</p> <p>公共交通機関利用時に密を避ける。</p> <p>検温・消毒・マスクの徹底。学校にて1人1つ、消毒用ジェルの配布と活用。</p> <p>修学旅行実施2週間前、実施後2週間の体調チェックシートの記入・確認。</p> <p>ソーシャルディスタンスをとるため、バスを増台。食事はスクール形式。</p> <p>コロナ対策としてバス、添乗員、ガイドを増やして消毒の徹底やディスタンスが保てるようにした。</p> <p>コロナ感染防止対応</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に配慮した。貸し切りバスで比較的近場でありながら、コロナ感染の少ない県を選んだ。</p> <p>見学地ごとにマスク交換など、感染症対策を徹底した。</p> <p>関東方面の予定だったので、新型コロナ感染予防のため、早めに中止を決定した。</p> <p>近場での実施も検討したが、今年度は中止せざるを得なかった。</p> <p>市内同規模校とも情報交換しつつ市教委との連携を取りながら決定した。</p> <p>2年生での実施予定だったので、3年生に先送りをした。</p> <p>総合的な学習の時間で取り組む「ふるさと学習」に関連づけ、熊野地域の魅力ある自然、文化、防災について学べるようにした。</p> <p>修学旅行先の決定は保護者と相談の上行い、1ヶ月前まで、県内と県外の案を持ちながら、最終決定をおこなった。</p> <p>修学旅行予定先のコロナウイルス患者の発生状況に留意した。</p> <p>修学旅行は貸切バスを使い、不特定多数との接触は極力さけた。旅行前後の体調管理に注意し、旅行中も換気や消毒など行っていた。</p>
<p>生徒の体調の把握と管理。</p> <p>コロナ感染症対策。</p> <p>看護師を同行させた。</p> <p>公共交通機関は使わず、移動は貸切バスにして、本校から近距離の場所に変更し、日数も減らした。</p> <p>貸切バスは中型から大型に変更し、隣り合わせに座らないようにした。また、乗車前には靴底を消毒してから乗車した。</p> <p>生徒一人一人にアルコール消毒用携帯スプレーを配布し、細目に消毒するよう指導した。</p> <p>三密を避けるため、貸し切りバスでの移動、シングル部屋の宿泊、食事はバイキング形式を避ける工夫</p> <p>移動や見学時に、他の集団とできるだけ接することがないように、離れるように生徒に指導。</p> <p>また、手洗いうがいの励行、見学後や移動途中のトイレ休憩後はアルコールで手を消毒する、朝夕の体温測定など、コロナウイルスにたいする対応に配慮した。</p> <p>県内、郡内に変更し、バスの乗り降り毎にマスクを新しいものに交換した。</p> <p>ホテルでの朝食・夕食はバイキング形式は避け、出来るだけ個室を使用。野外活動を多く取り入れた。</p> <p>修学旅行の代替行事として、感染の可能性が最も低い地元(和歌山県内)で実施した。(一泊二日)</p>
<p>コロナ対策</p> <p>コロナ感染者がいない(極力少ない)近隣地域を旅行先に選んだ。</p> <p>また、感染症に係り、検温や手指消毒、マスクの取替等できる範囲の対応を行った。</p> <p>本年度の修学旅行は、コロナ禍の中で、また見通しが立たない中、大変でした。行き先や日程を何度か変更しましたが、結局はコロナ禍の中で、中止延期となっています。</p> <p>行き先については、「東京」→「長崎」→「広島」→「四国」と変更したり、日程については、「9月出発」→「11月出発」に変更したり、また、交通手段については、「飛行機」と「電車」→「貸し切りバス」に変更したり、コロナウイルス感染症の予防として配慮してきました。</p> <p>現在は3学期となり、対象が3年生で受検も控えているため、また、全国的にも感染者増大で、修学旅行の代替は難しい状況になっています。</p> <p>生徒や保護者の皆さんにとっては、従来の修学旅行が実施できなくて、申し訳ない気持ちでいっぱいです。</p>
<p>コロナウイルス感染症蔓延防止対策を徹底した。</p> <p>検温、バス内での飲食制限、食事の個別化等</p> <p>体験活動を取り入れた。</p> <p>マスク着用や手指消毒等の基本的な感染症対策に加え、大型バス利用や食事の座席、外部の人との接触を避ける等々工夫、配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者への説明</li> <li>・安全対策</li> </ul> <p>行き先が変更になった生徒の不満感を充実感にさせる取組を行った。</p> <p>コロナ感染予防のためバス2台に増やした。</p> <p>行き先、日程等の変更を3度行った。</p>
<p>コロナ禍の中、感染防止対策を徹底した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策冊子を作成し、保護者や生徒に感染防止の対応をお願いした。</li> <li>・乗員の密を避けるために、移動バスの台数を増やした。</li> <li>・バスの座席位置、マスク着用、アルコール消毒、会話を控えるように等指導した。</li> <li>・GO TO トラベル、有田川町団体旅行等移動補助の補助金制度を活用した。</li> </ul> <p>新幹線等列車乗車時は座席の消毒等を徹底しました。その他の場面でも感染症対策を徹底しました。</p> <p>ふるさと和歌山の魅力体験(熊野古道散策)、普段体験できないことを実施(川舟下り)、航空自衛隊基地の施設見学など、家族旅行では味わうことが少ない体験型の修学旅行を実施した。</p> <p>感染予防については、細心の注意を払った。(他校・他団体との交流を極力控えるなど)</p> <p>手指消毒の徹底。密にならないように配慮。</p>

<p>感染防止対策のための行動。引率教員・添乗員の増員。個別に移動が必要となった場合の交通手段の確保・計画。</p> <p>感染症対策を生徒とともに考え、考えられるすべてのことを徹底して行った。</p> <p>消毒に関するグッズ(非接触型温度計、アルコール手指消毒液、泡タイプハンドソープ、ペーパータオル、アルコールウェットティッシュ等)を多めに持参した。</p> <p>コロナウイルス感染症対策・・・JR座席の消毒、手指消毒、頻繁なマスク交換、食事や席の工夫など</p> <p>Go TO利用や市などからの補助により、旅行費が安くなったが、手続きがややこしかった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策</p>
<p>感染症対策の徹底</p> <p>生徒、保護者への説明</p> <p>Go To トラベルキャンペーンと新型コロナ対策交付金の活用</p>
<p>本市においては、旅行当日に係って、新型コロナウイルス感染症による学校・学年の臨時休業の指示が保健所及び市教育委員会から出された場合、旅行のキャンセル料は、全家庭の負担となる。</p> <p>このことを理由にした不参加者を出さないように、旅行費用軽減のための計画変更・縮小に配慮し、保護者説明会で理解を求めた。</p>
<p>県内の修学旅行に変更し、カヌー体験等の体験学習を取り入れました。金額を押さえるために、わかやまりフレッシュプランを利用するために、日程を9月に設定しました。</p>
<p>目的地を県内に変更した。</p> <p>電車での移動を取り止め、チャーターバスでの移動とした。</p> <p>密を避けるために、バスの台数を増やした。</p> <p>食事は配膳と弁当にした。</p> <p>2週間前から健康観察と健康管理を徹底した。</p> <p>県外からの利用者が多い観光地は避けた。</p>
<p>これまで実施したことのない行先であったので、一から準備しなければならず大変だった。</p> <p>その実施計画を練る段階から最善のコロナ対策を講じる必要があった。</p>
<p>感染防止の徹底。ゆとりを持って計画した。</p>

1- (10) 観光諸機関（宿泊・見学施設等）への意見・要望等について

感染防止対策を徹底していただいていた。
感染症対策の徹底
コロナ感染防止及び営業縮小により、見学や訪問等ができない場所があった。
感染対策を徹底して頂いてありがたかった。
京丹後市観光公社に大変お世話になりました。
様々な場面で十分に配慮されていた。
コロナ禍のため、仕方ない部分もあるが、京都からの修学旅行ということで「こんな時に来るな」という雰囲気を感じる場面があった。
感染対策を宿泊場所や食事会場などでしっかりとやっていただいた。
食事のアレルギー対応など、細かいところまで対応していただきありがたかった。
長野県は大変良かった。
密を回避するために様々な工夫をされていると感じた。
アレルギー対策として旅行会社と宿泊施設と連絡を密にとっていたが、うまく対応ができず、帰校後、保護者からの苦情があり理解を得るまで時間がかかってしまった。
新型コロナウイルスの心配もある中、ご尽力いただきありがとうございます。
生徒は、修学旅行には行けないと思っていたようです。
しかしながらこちらの要求を色々ご理解いただいて、ご協力していただいたおかげで、何事もなく、本当に思い出に残る修学旅行となりました。心より御礼申し上げます。
コロナ対策が徹底していて安心できた。
コロナウイルス感染予防を徹底して行ってくれた。
細かいところまで気を配った対策をしていただいた上に、とても歓迎してもらった。
彦岐島の土産物屋が倒産していたので、そういう場合は県レベルで何か工夫をして欲しかった。
いろいろと配慮していただいたので、良かったです。
アレルギー除去食が該当生徒にセットされていない場面があった。
感染症対策をしっかりとされていて助かりました。
換気や消毒についてどのようにしているか確認した。食事のしかた、おかわりの方法等、感染防止の観点で相談・要望した。
ホテルでの感染症対策の徹底がありがたかった。
いずれも感染防止対策は徹底されており、特に心配な点はなかった。
感染症対策なども含めて丁寧に対応していただいた。
席の間隔を空けていただいたのはよかったが、正面に向き合う配置ではなく、1席ずらしてテレコに配置してほしかった。
十二分な感染予防対策が講じられていた。
いずれも非常に歓迎して頂いたのでありがたかった。
対策をしっかりと取っておられた。
連泊した白馬村の丸金旅館様には、感染対策を徹底していただき、生徒の安全・安心に心がけてもらい感謝申し上げます。
観光諸機関においても感染症対策が徹底されていた。
コロナ禍での実施だったので、各施設が非常に丁寧に対応してくれた。
食事について、アレルギー対応の観点から、急なメニュー変更は、避けていただきたい。
宿泊施設での食事では、コロナの関係で個人のプレート(又は弁当形式)になり、食事の楽しさや華やかさに欠けた。
各施設ともに厳しい経営状況と思われるが、生徒の思い出になる心温まる対応をしていただいた。
急な変更にも対応していただきありがたかった。
コロナ対応の徹底
費用増加にならないような工夫を依頼
アレルギー対応(成分表の送付)をしっかりとしていただくこと
旅行先が地元であるということも影響したのか、生徒を温かく迎え入れていただいたことに感謝しています。
コロナの状況により大きく左右されるため、感染予防の策を諸機関で練っていただいているが、土壇場まで実施の判断を迷うこととなるため、申し訳なく思う。
体験会場を2つに分け、さらにそれぞれの施設において会場を分け、密にならないよう配慮いただいた。
また、食事会場でも十分間隔をとり全員が同じ方向を向いて食事をとらせるなど配慮いただきありがたかった。
食事会場では、個別料理(弁当)とし、個々の座席間隔を十分にとっていただいた。
宿泊部屋を各部屋3人以内となるよう部屋数を増やしていただいた。
当日の入場者数を制限するなど、感染防止対策に万全を期していただいた。
コロナ感染症による変更の場合については期間に関係なくキャンセル料について配慮してほしい。
食事を個食とするなど、感染リスクを低減する対応。
部屋の収容人数一杯の利用ではなく、密にならないような利用人数での柔軟な対応。
食事会場や風呂が密にならないよう、感染リスク低減の具体的な提案。
感染症対策をしっかりと行っていただきたい
コロナ禍で大変だと思いますが、コロナ過に復興できるよう、頑張ってください。
キャンセルに伴う経費負担の減額
近畿圏内にも見学すべき施設等があることを再発見することができた。
しっかりと配慮していただいた。
感染症対策等についての情報を簡単に入手できるようにしてほしい。
新型コロナウイルス感染症発症や濃厚接触者として、旅行に参加できなかった者のキャンセル料金を無くしてほしい。
※見学・体験等の予約状況(日・時間帯別) 具体的感染症対策

食事の場所や方法に悩んだ。
結局、ホテルでのマナー講習を行ったが、さまざまな家庭環境の生徒がいる中で、フルコースでのマナー講習は、貴重な経験となり、大変良かった。
親密になることと、感染症対策の両輪を行うことへの協力を。
感染症対策
宿泊ホテルにおいて、可能な限り一つの部屋に入る人数を少なくすることを旅行業者には申し入れた。
感染予防対策のために、仕方がないことだが、全ての施設において制限がかかり、頭を悩ませることが、多々あった。
各所できる限りの対策を考えてくださっていた。
土産購入施設のレジの増設(一般客ともかさなり、相当な待ち時間と密な状況が生まれていた)
当初予定の民泊を変更して、宿泊先をホテルに変更したが、費用の総額は上がったが、GoToキャンペーンを活用したため、実質的には費用の負担は少なく済んだので良かった。
200人を超える規模の学校になると、施設の規模によっては一斉に取組めないこともある。
雨天時の活動内容の充実
新型コロナウイルス感染予防対策
上記に準じる。
新型コロナ感染防止対策に対し、十分に配慮してくれていた。
緊急事態発生時のわかりやすいマニュアルを作成していただくこと。
美浜町観光協会の方の全面バックアップで、安心して取り組むことができた。
ホテル一棟貸し切りはよかった。
宿泊先の方々がとても親切・丁寧に対応してくれた。
感染対策の度合いが、施設によっ異なるように思えた。
感染対策を十分おこなってほしい。発熱生徒が出た場合の迅速な対応をお願いしたい。
感染対策の徹底と、徹底していることの外部へのアピール
黒部ダムが観光放水期間を過ぎていたが、工事の関係で観光放水が見られてよかったです。
訓覇ダムの見学を受け入れている間、観光放水が見られるとよい。
宿泊施設の感染症対策については問題はなかった。
どの施設も十分なコロナ対策を実施されており感謝している。
コロナ対策
初日の宿舎(南淡路)の夕食は早々にご飯がなくなるなど、生徒の食欲を十分満たしたとは言えない状況だった。
初日の昼食(イングランドの丘)会場は、3クラスの生徒で目いっぱいとなり、座席の間隔を十分とることができなかった。
2日目の体験活動と昼食場所(香川県の中野うどん学校)は、先に順番だった関東の高校が遅れて到着したため、本校の活動を始める予定時間に遅れが生じ、そのあとに予定していた倉敷散策に影響が出た。施設側の予定の組み方に余裕がないように感じた。
倉敷散策の際、時期的(10月中旬)に日暮れが早くなっており、初夏に訪れるよりも活動時間がずいぶん短くなった。
倉窓のカリヨンハウスで「いかだ体験」を行ったが、下見職員が現地の方から受けた説明内容と実際の活動に違いがあり、活動時間を切り上げることに繋がった。
コロナ対応で、各機関は大変だったと思うが、丁寧に対応していただけた。
宿泊したホテルでは、初めての修学旅行受入れであったが、学校側の要望にも丁寧に対応してもらえた。
民泊中止は早い時期に連絡をもらっていたが、体験学習の中止連絡が直前になり、対応に苦慮した。
新型コロナウイルス感染症防止対策
宿泊や食事については大変配慮されていたと思います。
コロナの影響で施設見学の時間がずらずらずと、初日に事故渋滞に巻き込まれひやひやしました。
当初は二日目に民泊を予定していたが、修学旅行実施の2週間前に受け入れを中止され大変困った。
新型コロナ対策の徹底
地域によって、民泊を実施した地域とできなくなった地域があるが、仕方がない状況ではあったが、なんとか、実施できるようにしてほしかった。
ホテル、現地バス等十分な配慮をしていただいた。
食事、入浴等についての感染リスク対策をとる。
食事が予定と違って対面であった。
変更後のホテルは、修学旅行に慣れていないホテルだったようで、貴重品管理から、自販機のお願いまで、出来ていなかった。
食事はバイキング形式から個食に変更した。
帰りの昼食先の施設が営業を中止したため、急遽変更することになった。そのため、感染対策の配慮が十分でなかった。
ホテル・民泊でのアレルギー対応を丁寧にしていただいた。
大阪からの修学旅行でも、大変歓迎いただいた。
コロナウイルス感染症拡大防止対策
民泊の受け入れが出来るようになって欲しいです。
受け入れてくださり、感謝しています。
出発の2週間前に、現地での2日目の体験活動の受け入れができないと連絡があり、困った。
平和記念資料館の入場制限による抽選などの関係で、当初の予定通り行けるかが、ギリギリまでわからなかったところなど
宿泊施設は例年以上にとっても暖かく迎えてくれた。
こまめな消毒や、食事会場においても、生徒一人ひとりの間隔を取った配膳など、いろいろと配慮いただいた。
ホテルのコストカットか、食事が大幅にグレードダウンしていた。
3密を避ける部屋数の確保等
ビュッフェ形式の食事を避ける
宿泊施設は様々な配慮をしてくれた

民泊をされる家庭は、高齢者の方が多いので、中学生の受け入れが難しいと思われる。事前に受け入れ不可とお伝えいただけると、行程を変更して考えることができる。
正しく恐れて正しい対応をお願いしたい。
雲仙スカイホテルの老朽化が目立ち改善して欲しい
キャンセルの件や途中退団の時の保険などコロナ対応には脆弱であった。
大阪では新型コロナウイルス感染者が増加していることから、民泊を受け入れていただけなかったと聞きました。
広島のお土産購入の場所が限られているので、折り鶴タワーでは午後になるとなくなる商品があった。
実施1か月前になって民泊先から受け入れを断られた。仕方がないと思われるが、早めの判断をお願いしたい。
民泊の受け入れ中止の通知をもっと早くしてほしい。
日程、宿泊施設変更で、次の予約に関わって、他校に後れを取ることもあった。
十分な新型コロナウイルス感染症対策
このような状況の中、心からおもてなしをいただいた。
感染症対策を徹底した。消毒、マスク着用、検温。
他の利用者との接触を避けるため1館貸し切りや動線を分けるなどの工夫。
各施設においてしっかりとした感染症予防対策をとっていただき感謝しています。
民泊予定の沖縄の受け入れ団体から「コロナ拡大で今年は受け入れられない」との連絡を受けての予定の変更だったが、その後、沖縄のみなさんは元気に過ごしているのか心配している。
他校の参加が少なかったので、丁寧に対応していただいた。
思った以上に感染対策に取り組んでいた。
ネスタリゾート神戸は人気のアトラクションの待ち時間が長すぎ 日帰りではほとんどできなかった
食事に関する食物アレルギー対応など。
修学旅行保険内容のコロナ対応に対する推進が必要。
このままでは、遠方(オキナワ)空路を選択するには、最悪の場合の負担がされていない。
食事について、バイキング実施しない、対面では食事をしない等の工夫を宿泊先をお願いした。
本校のように少人数の学校では宿舎、見学施設等は臨機応変に対応していただけたが、多くの学校では3密を避けるために苦労なされたと聞く。
そのため、コロナ禍での修学旅行はどうあるべきかをしっかりと考える必要性を大いに感じている。
蜜の回避、特に食事時の感染防止対策を徹底をお願いした。
USJは引率職員の入場料も徴収されるが、公立中学校の予算の中には基本的にこれらを支払いできない。
仕事で行ってもらうのに入場料を負担してもらうことはできず、費用の捻出にとっても苦労した。
そして入場料がとても高額である。他にも一部同様の施設があるが、何とかならないものなのか。
今後、新型コロナウイルス感染症予防としての対策を実施していただくとともに、事前にどんな手立てを講じているかアナウンスしていただきたい。
各機関の感染対策の徹底
感染症予防対策をきっちりとしていて、周知していただき、使用にあたり児童生徒・保護者、教職員の安心につなげてほしい。
教育旅行としての感染症対策を十分考慮した企画の提案及び柔軟な対応
陶芸体験(信楽:手びねりによるコップづくり)は、丁寧な説明で楽しめた。
琵琶湖スカイアドベンチャーでの体験は(空中アスレチックとチームビルディング)集団づくりとして最高であった。
宿舎は琵琶湖畔の合宿対応の施設で、体験メニューが充実していた。
お土産で、賞味期限が切れた品物があった。
民泊受け入れ体制の整備
感染防止対策に協力的であり、よかった。
たいへん良くしていただき、安心・安全に修学旅行が実施できた。
実施直前に、長野県観光組合から民泊の受け入れ通知が出たので、延期、中止、日帰り旅行に変更した。
保護者説明用に、長野県観光組合から保護者案内を出してくれたらスムーズに進んだと思った。
引率教員の施設利用料が全額個人負担等、施設には配慮いただきたい。
計画後、受け入れ側の対応に変更が出ると、目的地が変わるなど、場合により実施する意義自体が変わることがある。(実施の是非にも影響)
不特定多数との接触をできるだけ避けたい。
食事会場では、座席間隔を空ける等の配慮があった。
感染予防対策及びそれに伴うガイドライン
感染症対策の徹底
生徒たちが昼食をとるレストランは対策が徹底されていた。
感染症対策について、保護者説明会に耐えうるだけの資料を提示させた。
食事場所の座席の感覚等。昼食時において気になる点が1日目にあったが、そのほかについては、その食事場所も3密を回避
食事について個別での配膳をお願いした。ツーリストの連絡不行き届きで要望通りになっていないところもあった。
座席が対面であったり、距離が不十分であると感じたところもあった。
アクリル板の設置をお願いしたい。
部屋人数の制限
バスの増加
今回、川上村が村ぐるみで、修学旅行の受入をしてくださり、受入先の方々の温かさを感じることができました。
3.で回答した旅行費用より、Go To キャンペーンにより3800円安くなりました。
ホテルには対への世話になり、コロナ対策で気を遣っていただいた。
食事が例年であればビュッフェ型式であるが、今年度は会席の型式であり、生徒間の距離も広くとっていただいたので、安心して食事ができた。
宿泊先に大きな団体が入っていないかを確認した。
食事はすべて貸切の部屋のあるところ、感染対策が整っているところを優先した。

宿泊施設は、コロナ対応という理由で料金をあげすぎである。
見学施設や宿泊ホテルは、コロナ感染予防対策に最善を尽くしてくださった。
多大なる配慮をしていただいた。
どの施設もコロナ対策は万全だったように思う。
対応、配慮ありがとうございました。
9月の第2週目ということもあり、何処ともすぐすいていたのに対応していただいたお店、体験のスタッフの方に丁寧な対応をしていただき、有り難かったです。
コロナ禍のなか、修学旅行を受け入れていただき、できる限りの対応をしていただいた。
確実な感染防止対策が取られており、感謝している。
コロナ禍の中、民泊はどうしても避けてしまいます。
本当によく協力していただいた。
早めの対応をして頂き良かった。
当初の予定では、感染症対策について学校と宿泊施設との温度差が大きかった。
新型コロナウイルス感染症の終見通しがない中、一層感染予防について、徹底した対応を進めて頂けたらありがたい。安心してとまではいかなくとも、訪問時に生徒の意識付けに効果が上がると考えている。
1泊目のひろしま国際ホテルは、不衛生であり、和室に泊まった生徒がダニによる湿疹が出て通院する事態になった。ネットで検索をした保護者からは、数カ月前にも同じことが起きているのに対策をとっていないようなホテルに宿泊することへの苦情が寄せられた。食事のクオリティも宿泊費に見合うものではなかった。
ホテルのHPでは、修学旅行生を受け入れることが大きく取り上げられているが、実際の環境は全く良くない。便乗商法といっても過言ではない。
せっかくの修学旅行に残念な思い出を残してしまったことに、校長としても責任を感じる場所である。
コロナ対策に疑問を感じることもあった。
1泊目の「ひろしま国際ホテル」は、HPでも修学旅行宿泊プランを掲示するなど、生徒も楽しみにしていましたが、寝具のダニが原因と思われる湿疹が発生し、帰宅後に通院する生徒が1名ありました。
また、2日目の「萩小町」と比較すると、宿泊費が(広島宿泊助成2,000円を引いても)まだ高額にもかかわらず、夕食・朝食共に各段の差があり、非常に残念でした。
各見学場所でもコロナ対策がなされ、また生徒全員が手洗いと共に、除菌シートや携帯消毒スプレーをポケットに入れて手指の消毒に努めました。ただし、お土産の購入時は、不特定多数の人が商品に触れていることやレジ待ちの行列などが意見や要望はないが、ホテルの方には感染防止対策など大変お世話になった。感謝しかない。
○感染症他作として
・食事の提供において、ピュッフェ(バイキング)形式ではなく、一人一人用の配膳が準備できるのか？
・円卓ではなく、学校のように全員が同じ向き(前向き)で食べることができる会場・テーブルが確保できるのか？
・1~2人部屋で、全ての人数が収容できるのか？
どの関係機関も、良く対応していただけた。
どの施設も感染症対策をしながら受け入れてくださり、ありがとうございました。
感染防止対策の徹底。
ホテル側も感染防止対策を丁寧に講じていただき感謝している。
入館の際の消毒や食事の際のシールドの設置・消毒、食事の個別対応等。
食事形態の対応を、より柔軟にしてくださった
感染症予防対策がしっかりとなされていて、安心して活動できた。
旅行社を通して、USJと緊急時の対応、職員や保護者への連絡等の確認を行った。
各施設で、コロナ対応の明確な基準を教えて欲しい。
Go To キャンペーンのためか、宿泊代の上乗せがあるように思う(例年より割高)
新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を求めた
食事場所によって、換気・密接等の配慮が気になった。
コロナ対策等、丁寧にしてくださり、感謝いたします。
今後も感染症対策が継続していくと思われる。
各施設において、十分な感染予防対策をお願いしたい。
感染症対策に細心の注意がされており安心だった。
新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に行ってほしい。
水族館の土産売り場が大変混雑した。
感染防止、予防の徹底
学校からの要望に快く対応していただいた。
地域共通クーポン12,000円分あったが、この事業開始直後であったためお土産店の理解が不十分であったため混乱が感染予防対策の徹底。
地域クーポン利用開始日ということもあり、店側がよくわかっていないこともあった。生徒には事前に説明していたので、生徒の方が利用の仕方を知って店もあった。
大浦天主堂付近の土産物店で、国が行っている地域クーポンが使えず、長崎市独自のクーポンの使用可の店も少なから
ホテルでの食事の際、テーブル席を前向きで食べられるようお願いしたが、ホテル側の施設の問題もあり、円卓での座席配置となった。
食事個人での盛り付けをお願いしたが、大皿からの各自とりわけとなった。
いろいろと配慮して頂き、有り難かった。
新型コロナウイルス感染に対応した、準備(消毒、検温、食事場所の確保など)をして頂き感謝したい。
今回の修学旅行において、食事や学年レクリエーション等で様々な配慮をしていただいた。特に要望等はない。
常にサポートして下さり感謝しております。
どの施設に於いても、感染対策が十分に行われていた。
感染予防のため、宿泊代、食事代等が高いように感じた。
すばらしい対応でした

一泊二日の修学旅行で十分である。
新型コロナ感染症の対策や対応は納得できるものであった。
1日目の夕食時の座席が開けられていなかった(広い会場であったが)夕食後に申し入れ、朝食時は間隔をあけてくれた。
琴参閣では、おもてなしの心を学ぶことができとてもよかった。
どこもコロナ感染拡大防止対策をしっかりとらせてくださっていて安心した。
感染防止を配慮し、丁寧な対応だった。
どの施設もコロナ対策をしっかりと行なってくれていた。
アレルギー対応の徹底(食物)
感染症対策はしっかりとやっていた。
宿泊施設のホテルをはじめ、訪れたすべての施設でも三密回避、感染予防策についてよく協力していただいた。
ただ、やはり祝日は日が高額になったことと、それに見合う食事内容ではなかったのが不満が残ったところである。
大人数なのでやむを得ないとは思いますが、食事がいまひとつのように思った。
感染防止対策が十分になされてよかった。
入館から、食事会場も万全のコロナ対策を取ってもらった。宿泊班員も2名部屋か、3名部屋で統一！
十分な配慮をいただいた。感謝しかない。
各施設では新型コロナ感染症対策がしっかりと行われていた。
安心できる対応であった。
新型コロナ感染拡大対応など、きちんとしていただけた。
近江神宮のカルタ体験が意外と良かった。
10月のラフティングは季節外れで寒かった。十分な寒さ対策を講じてほしかった。
コロナ対応をしっかりといただき感謝している。
各施設で温かく迎えてもらい、ありがたかった。また、どの施設も感染予防対策もよく練ったうえでの受け入れだった。
ペンション村の方も、アレルギー対応や、コロナ対策等で気を遣っていただいた。
感染予防対策をしっかりといただけた。
コロナ対策を十分にとっていただくことができた。
ホテルでのコロナ対策が徹底していた。
食事でバイキング形式をやめた
この状況下での実施だったこともあり、ホテル側も大変喜ばれていた。授業員の対応も、すばらしかった。
ホテルの食事があまりに貧素だった。(下見時と大きく違った。)
新型コロナウィルス感染症による不安を少しでも解消できるように感染拡大防止対策を徹底させてほしい。
体験施設と学校とのコロナ対策における意識の差があった。
体験施設や団体の意識が低く、旅行者に申し出て距離を広げてもらうなどした。
学校団体を受け入れるのであるので、当然のことであるが学校でどのように取り組んでいるのかを周知させてほしい。
密にならないように、部屋の定員を減らしてもらったが、料金が上がったのは、配慮できないものなのか。
宿舎入館前には全員の手指消毒・検温、食事の際は向き合わない座席配置もしくは向き合う場合はビニールシートの設置等、感染防止の対策がしっかりと取られていた。
宿泊場所、食事、見学施設については、感染防止対策に努め、丁寧に対応いただいた。非常に満足している。
感染状況などにより修学旅行の開催を見合わせた場合のキャンセル料の対応を柔軟にしてほしい。
しっかりとした対策を講じていただき感謝している。
保津川ラフティングについて 川に落ちる生徒が多く、安全面に問題はないのか心配になった。
タクシーを利用したが、対応がとても親切でよかった。
新型コロナウィルス感染症対策によく配慮していただいた。
見学施設が出発の一週間前に見学できないという報告があった。
もっと早くからわかっていることであるのならきっちり説明があってもよかったが、当日、こちらから事情確認をして、初めて詳しいことが分かった。
そのようなことであれば、何らかの代替案の案を示してほしい。
見学地の感染予防の徹底
安全管理の徹底ができたいた。
お客さんや観光客の人数が、少なかった。
食事会場の密を防ぐ策を講じてほしい。
しっかりと、施設側の感染対策がとられていたこと。
保護者への説明において、しっかりとした対策を示すことができるように対策をまとめてほしい。
食事でのアレルギー対策が、事前の入念な打ち合わせにもかかわらず、不十分であったこと。
感染対策を十分にしていた
コロナのため急な変更を余儀なくされた中で、宿泊地・食事会場・見学施設の皆様には多大なご協力をいただき、修学旅行が実施できたことに感謝申し上げます。
修学旅行をあまり受けけておられない一部の宿舎にあっては、保健室やレクレーションの部屋をお借りする際に、予算に限りのある学生旅行であることをご理解いただけるとありがたいです。(多くの宿舎では、すでにご理解いただいております)
ヨーデルの森や竹田城
湯村温泉朝野家と生徒の思い出になればと、好意的に受け入れてくれた。
その都度連絡し、対応していただいたが、部屋数の追加は追加料金が必要だった。
施設も予想外の人気だったのか、事前打ち合わせと違うことが多々あった。
特に、人気パビリオンでは中学生が並んでいるのに、別料金を払った一般客が優先されたことに不満を感じた。
入口等での検温や消毒作業を行う人の数を増やし、スムーズ入に場できるようにしてほしい。
食事場所での飛沫拡散への対策をしっかりと欲しい。
食事の際、会場設定やお弁当形式での食事の提供等配慮していただいた。
遊具や買い物施設への開場時間がこちらの計画とうまくいかなかった。
『舞鶴引揚記念館』では、丁寧に対応していただき、生徒たちはじっくり学ぶことができた。

バーベキュー等の取り消しができない、弁当を食べられる場所の確保など予定を立てるのが難しかったです。
入場人数の制限等の実施。
感染症対策の徹底と、待つ時間がどうしても密になるので、混雑を避けるために入場制限をしていただきたい。
ホテル側にはとても配慮をしていただき、中学生扱いをせず、しっかりと一般客と同等に対応をしていただきありがたかったです。
三密を避け、消毒・換気を徹底すること。
感染予防対策(特に食事)の徹底
施設内スタッフなど、最大限の配慮を行ってくれていたと思うが、冬季イベント初日ということもあり、午後はそれだけでは対応しきれないくらいの人が多かったです。
団体旅行(学校など)の引率者等の再入場ができるような対策をしていただけるとありがたい。”
観光地(城崎マリンワールド、出石町)では、手指消毒や密を避けるための配慮が十分なされていた。
引率教員に対して、施設使用料が徴収されるが、県の規定で、それは出張旅費として支出されず、いわば「自腹」になっている。
感染症対策に努めていただき安心して行くことができた。
GoToトラベルで生徒の旅行代金が大幅に安くなったのはありがたかった。
宿泊施設があまり修学旅行で使われていなかったのも宿泊代金が大きくなった。
2日目のホテルの食事会場が、本校の生徒数にしては狭すぎた。(普段なら問題ない広さかもしれないが)
事前、旅行中に十分な対応をしていただいた。
来年度以降も航空機利用が難しく、近場での修学旅行を企画する場合には、今回の事例は参考になるので、校内で情報
アルコール消毒等、入念に感染症対策を実施して下さったことが非常にありがたかったです。
ホテルや食事会場を本校の希望条件に合うところをお世話いただいたが、感染予防等よくしていただいた。
宿泊・食事・見学施設等が、感染防止対策にしっかり取り組んでくれていた。
こちらの要望にしっかりと答えてくれた。
宿泊させていただいたホテルのサービスに大変満足しています。
チケットの買い取り制(払い戻し不可のチケット)はやめてほしい。
各機関の感染対策のネット上での公開。
初めてのコースで、職員にとって新鮮であった。バスでの移動と移動時間が短かったことで体力的にも余裕があった。
宿舎やバス等は感染予防も徹底できていた。
一泊目のホテルでは、丁寧に対応してくださったが、建物が古いように感じた。
2泊目のホテルでは、バイキング形式でメニューが豊富であった。他の宿泊客との接触はあったが、食べ物を配膳する際は、その都度新しい手袋を着用するなど、感染対策が講じられてよかった。
見学先は、概ね満足できるものであり、様々な観点から学習・体験できた。生徒は、ナガシマスパーランドで最も楽しんだよ
宿泊施設も食事場所も見学地も感染対策を万全にして対応してくれた。
夕食は、豪華ではあったが、感染症対策のため弁当形式だったので、冷たかったのが断念であった。あたたかい食べ物も
見学施設関係者やホテル関係者がとても丁寧な対応と感染症対策も充分であったことは良かった。
どの施設も感染症対策がなされていた。
新型コロナウイルス感染症対策がきっちり行われていました。
どの施設においても、丁寧に対応してくれて行ってよかったと度々感じる事ができた。
各施設・コースでは、案内担当者や語り部ガイドが丁寧・かつ温かく対応してくださり、深い学びを得ることができた。
また、おもてなしの心にふれることができ、目には見えない魅力も再発見できた。
新型コロナ感染症拡散防止のため、各施設よく対策をとってくれていた。
食物アレルギーの生徒がいたため、食事一品一品の食材について一覧表を提出してもらうことができた。
そのおかげで食べられるかどうかの確認を事前に行うことができ、無事過ごすことができた。
感染予防の対応をしてくれており、安心して宿泊、食事、見学ができた。
食事はバイキング形式でなく、一人一人に配膳してくれたのでありがたかったです。
食事や配室等ホテル側の配慮が良かった。カヌー体験も生徒達は喜んでいました。
各見学場所ともコロナ対策を丁寧に行ってくれていてありがたかった。
アレルギー生徒の食事には、万全の注意と配慮をお願いしたい。
もっと魅力を発信していけば、実施方面として希望する他府県の学校は増えると思う。
食事の時、密にならないような座席配置を要望した。
宿泊施設は、感染症対策等について、こちらの要望に対して丁寧に対応してくださった。
コロナ対策が十分されていて、安心して利用出来ました。
こちらの意向に沿って、協力と配慮していただいた。
しっかりとコロナ対策を講じており、安心して利用できる施設であった。
地元、和歌山の良いところ再発見できたことはとてもよかったと感じています。

## 1- (11) 輸送機関や旅行会社への意見・要望等について

<p>感染防止対策を徹底していただいた。          旅行業者には、度重なる変更など無理を聞いてもらってありがたかった。</p>
<p>宿泊先到着後の体調不良者や出発後に家族に感染者、濃厚接触者が判明した場合の対応を想定した計画          集約列車利用に関して、申込が2年前からとなっておりコロナ渦の状況の中で行き先の変更等もあり得るので、集約列車          利用に対して柔軟な対応を望む。</p>
<p>旅行会社の対応が不十分であった。          交通手段が、借り上げのバスだけだったので、安心だった。          特になし。良くしていただいた。</p>
<p>コロナ禍の間は、集約列車のキャンセルについては、ある程度柔軟に対応してほしい。          とにかくバタバタといろいろなことを決めなくてはならなくてやり取りが煩雑になった。          また、キャンセル、変更が重なって旅行会社の抱える仕事量が多くなっており、対応が遅かった。          急な変更にも対応していただき、感謝しています。          課題がたくさんあった中、丁寧に対応していただいて、大変感謝している。</p>
<p>長距離にも関わらず、安全・快適にバスの運転をしていただき、消毒に関してもこまめに対応していただいた。          バス会社も大変良かった。ヤサカ観光バス          バスガイドさんの対応、配慮はきめ細やかに行き届いており、たいへん良かった。          様々な制限があるなか、学校からの要望も丁寧に対応していただき          日程、行先の変更など本当に大変であったと思いますが、学校の無理な要求を受け入れて、実行していただいたと感謝して          急な変更等が考えられるので、連絡を密に取りたい。          コロナウイルス感染予防を徹底して行ってくれた。          キャンセル料の発生など、少しでも早く情報提供をしていただきたい。          航空会社の9月運賃対応で、延期計画ができて有難かった。          いろいろと配慮していただいたので、良かったです。          どのタイミングで消毒できるかを確認した。また、発熱や体調不良の生徒が出たときの対応などを事前に相談した。          方面変更や感染症対策などに、旅行会社(JTB)に丁寧に対応していただいた。</p>
<p>全行程を貸切りバスの異動で実施。バス乗車時は必ず、ガイドさんおよび教職員でアルコール消毒。バス内は常時、空調          により喚起されており、特に心配はなかった。          発熱者の対応については、旅行業者の経験を踏まえての適切なアドバイスにより、判断の参考になった。          集約列車以外の利用でも、特急料金の特別割引をコロナ対応が必要な期間はお願したい。          バス会社の感染予防、旅行社の人員など助かった。</p>
<p>復路の空港で、発熱があれば搭乗できなくなると、航空機の利用については避けざるを得なくなる。          修学旅行生は単なる発熱で判断するのではなく、発熱があった場合はコロナ陽性の可能性があるかどうかでその判断をし          対策をしっかりとしておられた。          東武トップツアーズの対応はとても丁寧だった。          往復を貸し切りバスで実施したが、バス内の感染対策、例えば消毒の徹底や常時の換気等を行っていただき快適に移動          できた。</p>
<p>現地で感染者や濃厚接触者が出た場合の『足止め』『公共交通機関乗車不可』から、遠方への修学旅行や集約列車の利          用を躊躇せざるを得ない。キャンセルの場合の『企画料』は、何とかならないものか？          集約列車による費用軽減については、今後も実施していただきたい。</p>
<p>JRについて、コロナ禍での日程・方面変更について、ペナルティを科さないことはもちろんのこととして、          日程・方面変更についても、割引を適応していただきたい。</p>
<p>貸切バス          中止決定前には、実施時期・方面の変更を検討し、中止決定後も、代替としての校外学習について旅行会社と何度も協議          したり、問い合わせを行ったりしてきた。          急な変更や感染予防に関する可能な対応等を訪問場所に確認するなど、大変丁寧・誠実に対処いただいたことに感謝し          コロナ対応の徹底          費用増加にならないような工夫を依頼          来年度の修学旅行も旅程変更が生じると考えられるが適切に対応してほしい</p>
<p>コロナ禍で企画料がキャンセル料発生となることについて、旅行社から説明を受けたが、旅行社によって扱い方が違い、最          最終的に市が支払うことになったのだが、板挟みになって苦しかった。</p>
<p>旅行会社との契約において、今までは学校の事情に配慮いただき、出発の1か月前に行っていたため、          今回の急な予定変更やキャンセルにおいて、契約を交わしていないままでのキャンセル料発生について、市からの補助が          出ないようになり、現場としては非常に苦労した。          経済的に困難な家庭や不登校で参加が不明な生徒などへの配慮が、あだとなり、旅行会社にも、他の保護者にも迷惑を          かける事態となった。</p>
<p>4月から9月、さらには10月と日程および方面ならびに内容を何度も相談し、          その都度誠意を持って対応いただいたことにお礼と感謝を申し上げます。          (コロナ禍の中、実施時期を変更しても飛行機のチケット代金を変更前と同額にしていただけという対応がよかった。          (実際には、延期してもコロナの感染状況を理由に開催できなかったが)          何度も変更を重ねたが、その都度適切に対応してくださって大変助かった。          旅行業者の担当者には、変更のたびに相談に乗ってもらい大変助かった。          キャンセル料を今年度の場合は市教委で対応してもらえたが、次年度以降の保障はなく、          実施できない場合のキャンセル料をどうするかやや悩む。          不特定多数の一般客との接触を避けるため、貸切バスでの移動のみとしたが、          バスに酔う生徒が各クラスにいるため、遠くまで(長時間)行くことが難しい。</p>

全行程の移動はバスであったが、見学先での活動を終えて乗車するたびに手指の消毒を行っていただいた。
座席間隔をあけるためバスを1台増やす対応をしていただいた。
生徒数3名と極少人数の学校ではあるが、移動にはジャンボタクシーを利用した。
今回、2度に渡り日程や方面について変更した。そんな中、JTBの対応は修学旅行生への配慮や保護者負担について適切な対応ぶりであった。最終、宿泊なしという理由で、当初の企画料(一人あたり3%)の負担はあったが、市教育委員会が負担した。(国の予算活用)
次年度の修学旅行も既に旅行業者と契約を結んでおり、6月の実施は厳しいと考えている。泊を伴う修学旅行が実施でき
肢体不自由生徒のバス乗降について配慮等、気持ちよく参加出来る体制・対応をとっていただいた。
旅行会社にも度重なる日程変更や内容検討に適切に対応いただいた。
<b>感染症対策の徹底</b>
コロナ感染症による変更の場合については期間に関係なくキャンセル料について配慮してほしい。
小さい学校は大きい旅行会社が対応してもらえないことが多いのでたいへん困る。
保護者や生徒が安心して利用できる、感染対策の明示。
感染症対策をしっかり行っていただきたい
安心して乗れるように、有効な換気ができるように、機器の配置や改造をお願いしたい。
新幹線については、1車両に1校が乗るように、配慮していただきたい。
<b>キャンセルに伴う経費負担の減額</b>
行き先変更となったため企画料金のキャンセル料を支払ったが、負担なしで実施できたらよかった。
しっかり配慮していただいた。
公共交通機関利用中に感染症が発生した場合の対策等を知らせて欲しい。
新型コロナウイルス感染症発症や濃厚接触者として、旅行に参加できなかった者のキャンセル料金を無くして欲しい。
GO TO トラベルの実施以降、旅行会社の担当者が変わったり多忙さが伝わってきたりし、学校への対応が希薄になったと
親密になることと、感染症対策の両輪を行うことへの協力を。
<b>感染症対策</b>
学校現場の要望に応えようと頑張ってくれました。本当に感謝いたします。市の方針が、かわるなど旅行会社に、負担がか
当初の予定が二度延期になり、最終中止となったが、学校の事情にあわせて対応してもらえて感謝している。
旅行業者からのGO TOトラベル事業にかかる「地域共通クーポン」利用についての情報提供がなく学校からの問い合わせにより、ようやく利用に関する情報が入ってきた。
10月初旬の出発であり、制度のスタート直後ではあったが、出発2日前に利用可能の連絡が入り、保護者周知が直前となり、お小遣いの金額設定の変更が生じた。
あまりにも情報提供(可否にかかわらず)がなすぎた。
キャンセル料の対応について、若干旅行業者によって相違があるようで、その情報に翻弄されたところがあった。
予定の沖縄なら、伊丹から大型機が飛行しているが、関空からはない。
事前に修学旅行の団体の把握が出来るかと思うので、大型機に変更や増便など対応してほしい。
<b>新型コロナウイルス感染予防対策</b>
バスを4台から倍増の8台にして行程を組んだ。密にならずによかった。
添乗員が3名参加したが、添乗員の働きをみて、1名で十分だと思った。
旅行業者においては、急な変更に対する要望を聞き入れてくれるなど、迅速に対応してくれた。
感染対策を徹底していただいた。
コロナ関係で必要となる諸費用をカバーできる保険の充実
近隣での行先の開発・提案
感染対策のされた施設の資料提供
延期・行き先変更等、大変な状況の中、丁寧かつ柔軟な対応をしていただき感謝している。
<b>コロナ対策、コロナ感染時の緊急対応</b>
時期も時期だっただけに、急遽のバス追加にも対応してもらえた。
訪問先や行程の変更など旅行会社はよく頑張ってくれたと思います。感謝しかありません。
特になし。取扱業者はこちらの要望にしっかりと対応してくれた。
コロナ対応で大変だったと思うが、丁寧に対応してもらえた。
ホテル連泊(民泊中止のため)が他校とダブルブッキングになりかけた。
<b>新型コロナウイルス感染症防止対策</b>
感染対策等、最大限の対応をしてもらった。
go toトラベルで、上記旅行費用から、5585円割引された。
コロナに対応した細かい配慮をされていたと思います。
このコロナ禍の状況においては、旅行会社は宿泊先等との事前協議を十二分に行って欲しい。
<b>新型コロナ対策の徹底</b>
感染対策についての情報について、学校に知られるのが、遅いと感じた事項もあった。
基本的には、感染がある中しっかりとっていただいていたと考えている。
コロナの影響で新幹線の一般客が少なく助かった。
バス内の空調や、トイレ休憩の回数を増やして全員降車するなどの感染リスク対策をとる。
各旅行社により、企画料金がかなり違う
飛行機は、本当に安全なのか。遠距離で、何かあった時の対応などを考えると、変更もあるかも知れない。
大変とは、思いますが、第一希望と、まさかのときに対応出来る場所、二箇所持つことができれば、先が見えないこの時期に、助かります。
バスでの往復であったが、除菌等の配慮があった。また、宿泊先でも感染予防に努めていただいた。
台風の影響で現地での活動を当日朝に変更したが、スムーズに対応していただいた。
事前の発熱などで、旅行が中止になった場合の、キャンセル料などの保険があれば良い。
新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出たときや疑いのあるときに対応出来る旅行保険を保険会社に要請して欲しいで
コロナ対策等、明確な回答が得られず、不安が募った。
様々な判断が流動的になるのは理解できるが、予測できる対応は事前に考えておいてほしい。

旅行会社はとても良く対応してくれた。
バス乗車の際にも、生徒の手指消毒をしていただきました。
また、旅行会社にも日程変更や内容変更等も含めて、臨機応変な体覆うをしていただいた。
go toの対応が不明で大変だったが、現地でも即対応していただいて助かった。
コロナ対策を万全に
旅行会社が情報等、丁寧な対応をしてくれた。
感染症防止対策のためのさまざまな変更に対応していただけたことがありがたかった。
座席の間隔に余裕を持たせたり、宿泊部屋の人数を限ったりするので、
輸送機関や宿泊施設との交渉をスムーズにお願いしたい。
日程や内容の変更については、即座に誠実に対応してほしい。
中止時のキャンセルについて、旅行社の企画料は、旅行契約約款に従い徴収されるわけであるが、実施もできずに企画料だけは取られるということでは、保護者はなかなか納得できないことでしょう。
新型コロナウイルス感染症対策
あまり乗車することがないであろう上越新幹線に乗ることも一つの目的であったが、民泊の受け入れを断られたことによってコース変更をせざるを得なかったことは残念ではあるが致し方ない。
旅行会社には、コースを再検討していただきありがたかった。
変更後のコースも体験学習を基本として設定できたことは生徒にとって遜色はなかった。
また、貸し切りバスにすることで全体の旅行代金が安くなった(GoToトラベル活用)ことで保護者負担も減りよかった。
感染症対策の徹底
GoToは、保護者負担軽減にもなり、たいへんありがたかった。
台風の影響もあり、予定の変更を余儀なくされる中、臨機応変に素早く対応していただいて感謝しています。
丁寧な対応に感謝している。
貸切バスに乗車したところ、どのようにコロナ感染対策を行っているのかをDVDで説明されて、とても心強かった。
旅行会社の担当者が若く、様々な質問に対して回答が遅く、不便と不安を感じた。
全体的な方針があったので保護者等の理解は得られやすかった。
輸送機関の感染防止策の徹底。
旅行会社のスピーディーかつ臨機応変な対応。
感染症予防対策をきっちりととっていることを、周知していただき、
使用にあたり児童生徒・保護者、教職員の安心につなげてほしい。
教育旅行としての感染症対策を十分考慮した企画の提案及び柔軟な対応
旅行会社、バス会社に特に不満はない。
小規模校なので、貸し切りバスなどは人数割りにするので一人当たりが高くなる。
せめて集約列車を優先的に利用できるようにしていただきたい。
適切な情報提供
日程変更の段階から旅行者と密に打ち合わせができてよかった。
飛行機利用が市の方針で利用できなかったが、春から秋に沖縄を変更になった時に、航空運賃を同じにしてもらえた。
来年度も同じ措置があればと思います。
急な変更にも即時対応してもらえ、他市の情報なども聞けて助かりました。
GoToトラベルの利用について、保護者説明会への同席なども助かりました。
修学旅行中に新型コロナ罹患者が出ることを考えた場合、飛行機の選択は難しい。
バスで予定を立てるしかないと思う。
計画後、輸送機関(JR・航空会社等)や旅行会社側の対応に変更が出ると、目的地が変わるなど、場合により実施する意義自体が変わることがある。
(実施の是非にも影響)
航空機に発熱で乗れないことがネックになっている。
また、現地に残留しなければならないときに保護者の迎えが出来ないという理由で教育委員会からストップがかかる。
度重なる変更にも、丁寧に対応いただいた。
感染予防対策及びそれに伴うガイドライン
代替になる場合の配慮
度重なる変更に対応していただきありがたかった。
密を避けるための手立てを提示させた。
貸し切りバスやタクシーについては、密を回避することができたが、電車においては、座席場所の指定が思うようにならない時間帯があった。
行く先や交通手段を考えると検討はしているが、学校ごとの座席の確保と一般の乗客の方との間をあけることができるような配置をお願いしたい。
乗車人数と座席の関係もあると思われるが、学校と一般の乗客の方の間を1列あけるなどのことも考えていただければ、互いにより不安を感じることもないのだろうかとも感じた。
行き先の変更(2回)にもかかわらず、丁寧に対応いただいた。
行き先・日程等縮小した内容となったが、生徒たちにとっては、たいへん思い出に残る修学旅行になった。
旅行会社の方には、度重なる変更にも迅速に対応していただき、無事に修学旅行を終えることができました。
また、実際には実現しませんでした。時期の変更による沖縄方面への旅客料金の増加分を考慮いただく措置もありがたかったです。
どこの学校も変更が多くあり旅行会社は大変であったと思うが、連絡がうまく取れずに困ることが多々あった。
バスでの移動であった為、乗降車時のアルコール消毒はバス会社に徹底していただいた。
国が旅行会社に保護者への同意を求める文書を事前にとることを求めている。
旅行者の求めに応じて、学校が文書を作成し、保護者に配布及び回収を行った結果、当然同意できない家庭が出てくる。
感染対策等、バス会社には大変ご苦勞をおかけしました。

旅行会社は、複数回に及ぶ日程や方面・実施プログラム内容の検討にも、非常に協力的で適切な対応をし、安全な修学旅行の実施に努めてくださった。
各社、換気や消毒を徹底しておられて安心であった。
交通手段としてバスを利用する学校が多く、その確保のために日程を調節しなければならないことがある。
対応、配慮ありがとうございました。て
我々のところのような小規模校の要望にこたえ、丁寧な対応と的確な判断をしていただき有り難かったです。
旅行者からの正確で機敏な情報提供と迅速な対応により、無事に実施できたと感じている。心より感謝している。
保護者の気持ちに寄り添って考えると飛行機や新幹線など、密になる移動手段は避けたいので、コロナ終息まで、密になる移動手段は避けたい。
新幹線の往復で、車両を2両貸し切りとさせていただくことができた。
本当によく協力していただいた。
(バスガイドによる昇降時のアルコール消毒等)
臨機応変なSAへの対応
旅行会社がたてたプランでのバスの所要時間と実際にバスが走ってかかる時間に違いがあり、実際には到着が遅くなったし一人1席出なく、密にならないような対策をとっていただけるとありがたい。
本校に出入りの旅行担当者は、全国的な情報や方向性を提示してくれ、行き先や予算的な相談にも丁寧にに対応してくれており、助かっている。
料金の面で仕方がないのですが、往復の新幹線は十分な換気機能が働いていると思いますが、学校間ですら空席が取れない状況で、「密」が気になりました。
当然、全員進行方向、マスク着用、会話の制限、水分補給やおやつを口に入れる時のみマスクをずらす等の対応を取りま
航空会社やバス会社、旅行会社には本当にお世話になった。心から感謝している。
旅行会社によって企画料の扱いが違っていたので、近隣学校では要求のない学校があった。
このことを知った保護者の間で学校への不信感が生まれた。
コロナの影響で、旅行の日程や内容が何度も変更となったが、その都度、旅行会社には、とても誠実に対応していただけたことに感謝している。
○感染症対策として
・換気以上に、修学旅行の場合、狭い個室のトイレを頻繁に多くの生徒が利用するが消毒等は大丈夫か？
・一般客とのトイレの共用が、全て避けられるのか？
統一の見解を示し、保護者に説明してほしい。
学校側の希望や要望を良く聞いていただき、適切に対応していただけたと思う。
南九州から変更後も、行先や活動内容等全てにおいて柔軟に対応してくださり、感謝しています。
コロナウイルス感染症の先が見えない状態なので、今後も集約列車のキャンセルでの罰則等、柔軟に対応してほしい。
JR西明石駅においては、駅員さんたちが横断幕を掲げて見送り・出迎えを笑顔でしていただき感謝している。
航空機を利用した修学旅行における、発熱時の空港等での個別対応の困難さを検討すると、今後、沖縄に行くことに対するリスクの大きさを感じた。
航空会社によって、修学旅行延期に伴う料金変更等についての対応が異なる点が、今後も航空機利用を継続できるかという点で気がかりである
感染症予防対策がしっかりとなされていて、安心して活動できた。
航空機を利用した修学旅行における、発熱時の空港等での個別対応の困難さを検討すると、今後、沖縄に行くことに対するリスクの大きさを感じた。
新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を求めるとともに、感染対策グッズの紹介と感染症保険に加入
通常の新幹線に乗車したので、一般客と同乗することになった。そのためトイレ、乗車中のマナー等、例年以上の配慮が必
旅行会社の方には、何回も来校いただき、相談にのっていただき感謝いたします。
また、航空会社の方(スカイマーク)には、心のこもった見送り等をしていただきました。ありがとうございました。
新幹線、バスにおいても、十分な感染予防対策をお願いしたい。
集約列車でないので、一般の人と同じ車両は仕方がないが、生徒のすぐ横くらいはあけていただけないか。
感染症対策に十分な配慮がされていた。
業者により対応に違いがあった。受注した後も積極的に対応してほしい。
旅行会社の担当者には、変更に関する様々な要望に丁寧に対応していただき、感謝している。
旅行会社には、度重なる変更にも誠意を持って対応していただき感謝している。
定期的に情報提供をしてほしい。
感染防止、予防の徹底
重なる延期や内容変更にも柔軟に対応していただき、有意義な修学旅行になった。
感染予防対策の徹底。
旅行会社は、いろいろ配慮して対応していただいたが、学校側の希望に沿ってもらえない点も多かった。(食事の座席、配膳いろいろと配慮して頂き、有り難かった。
帝産観光バスを貸し切り、消毒を徹底した中で安全確保を行った旅行ができたことに感謝したい。
当初予定していた修学旅行から複数回にわたり、企画内容の検討・変更等を行っていただいた。特に要望はない。
度重なる変更にも誠意に対応してくださり、感謝がありません。
貸切バスを利用。他団体や一般の方々との接触がなく、安心して利用できた。
JTBが奮闘しました
旅行社はよく対応してくれた。
変更に関しての旅行業社の対応は良かった。
現地で発熱した生徒等の保険を適用される条件が明確に説明されておらず、保護者に迎えに来てもらった交通費は保護者
Go toトラベルでの地域クーポン券が使えなかった。
コロナ感染拡大防止への対応をしっかりとくださり、変更につぐ変更にも臨機応変に対応してくださりとても助かった。
バスがルートを2回間違え、体験場所での時間が短くなった。
二転三転した修学旅行でしたが、JTB担当者が臨機応変に動いていただき、助かりました。
感謝がありません(旅行会社)

神戸空港があるので、多人数でも地元空港から航空機利用ができるようにしていただきたい。
たとえば、神戸(伊丹)⇒仙台など
旅行会社も色々と苦しい事情があるかとは思いますが、学校の要望によく応えてくれて本当に助かりました。
旅行会社(JTB)には、しっかりサポートしていただいた。
旅行社の担当者は、臨機応変に対応してくれて、助かった。
添乗員2名・バスガイド3名体制でフットワークも軽く、臨機応変な対応にも満足！
2回の変更にもかかわらず、旅行会社の担当者は最後まで誠意を持って担当してくださり感謝しています。
変更に関し変更や交通状況の対応など、走り回ってくださった。心から感謝である。
帝産観光バスの皆さんに最大限の配慮をいただいた。
旅行会社の方をはじめ、バス会社、宿泊先の方々には急な計画・実施をお願いしたのにも関わらず、丁寧に対応してくださり、
バスの乗員もゆったりとしていてゆとりがあった。
コロナ禍の中での実施とあって、例年より細部にわたり丁寧な対応をしていただけた。
バス会社(JTB)の方々は大変お世話になりました。
バスの移動時間が長すぎた。
旅行社については、当校からの多方面にわたるリクエストに応えていただき、無事に旅行を催行できたことを感謝します。
感染予防対策をしっかりとしていただけた。
消毒や換気など、コロナ対策に十分配慮していただいた。
コロナ対策が不十分なところがあった。
バスを予定の倍にした
バス移動であったが、細かな配慮が感じられた。特に不安はなかった。
実施可否の決定を出来るだけギリギリに行きたいので、キャンセル料の規定に特例を設けていただけるとありがたい。
旅行社も大変な中、よく対応してもらった。
新型コロナウイルス感染症による不安を少しでも解消できるように感染拡大防止対策を徹底させてほしい。
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が今後も続くようであれば、
各県や市、施設の感染防止マニュアルがすぐに見れるようにしておくべきだと思う。
変更に関し柔軟に対応して頂き感謝しております
バス乗車時には手指消毒、室内換気、マスク着用等、感染防止対策がしっかり取られていた。
旅行会社については、当初の予定から二転三転し、最後まで支援と協力をいただいた。大変感謝している。
感染状況などにより修学旅行の開催を見合わせた場合のキャンセル料の対応を柔軟にしてほしい。
旅行業者には、2度のキャンセルにもかかわらず丁寧に対応していただいたことに感謝している。
旅行会社にもきめ細かく対応していただき、助かった。
JTBには、変更相次ぎ、迷惑をかけたがよく対応していただいた。
コロナで忙しかったのはわかるが、定休日の確認ミスや旅行中に他校の修学旅行プラン対応など気になる点が多かった。
感染予防の徹底
樂觀しているのか、小人数だからなのか、旅行会社の対応がたいへん遅かった(ずっと「東京方面も可能」と言っていたこと)
実施にあたり複数回の検討を重ねたが、真摯で早急な対応をしていただいた。
安全で無事に旅行を実施することができ、非常に満足。
今回はコロナの影響もあったので、当日キャンセルの生徒について、費用面で対応して頂きたかった。
急な企画変更に対しても迅速に対応して頂けた。
現地で発症した際の対応もできるように検討してほしい。
ツアーには感染対策を十分配慮していただけた
コロナのため度重なる変更を余儀なくされた中で、旅行業者の皆様には多大なご尽力をいただき、
修学旅行が実施できたことに感謝申し上げます。
旅行会社は度重なる変更にも対応していただいた。
その都度連絡し、対応していただいた。
貸切バスにおいては、換気・乗車時の手指の消毒等、新型コロナウイルス感染症予防に留意されていた。
感染防止対策を講じていただき感謝している。
引き続き、感染予防対策にご尽力をお願いします。
今回はGO-TOトラベルキャンペーンがあったので良かったが、日帰り修学旅行で企画料一人1000円は高いように感じる。
新幹線を待つ場合の待機場所の確保をして欲しい。
トラブルがあったが、迅速な対応をしていただき、生徒たちは安全に帰宅できた。
中学校の要望を真摯に聞き入れ、子どもたちの活動に最大限の努力をしていただきました。
貸切バスの空調管理とアルコール消毒液の設置。
3密を避けた計画を何度も練り直し、見学先や食事会場の交渉に徹していただいたおかげで、楽しい思い出に残る校外学習になった。
キャンペーンにも旅行会社から応募していただき、その結果当選し、生徒も職員も全員「道の駅お土産セット」をいただき
3密を避け、消毒・換気を徹底すること。
旅行会社には感染予防対策の徹底と旅行先で発熱があった時の対応について、十分な準備と保護者への説明をお願いし
旅行会社には急な実施にもかかわらず、丁寧に対応していただき、感謝しています。
バス会社の方が、こまめに手指消毒などを実施してくださった。
旅行会社が「企画料」を徴収することが、今回のような事態になった時の大きな支障になった。
社によって、または同じ社でも支社によってその取扱いがまちまちであったり、
小学校に対しては企画料が見込まれていなかったりすることで対応に難しさがある。現場が困らない対応をお願いしたい。
秋の沖縄へ一時変更をしたが、航空機関により対応が分かれ、航空運賃に差が出る回答で市として混乱した。(最終的には統一)
旅行会社により、企画料が発生する・しないの対応の差が見られ、混乱した。最終的に市教育委員会が企画料を支払うこととなりおさまった。
4月当初、航空会社によって対応が違った。(ANAとJAL)

コロナ禍の旅行になり、旅行会社に日程や行先変更等を含め、かなり無理をお願いしたが、きちんとした対応をしていただき、安心して旅行を行うことができた。感謝しています。

旅行者に対して、発熱等の体調不良者が出た場合の対応マニュアルを公表している町・県が少なく、行き先の選考基準として、保護者への説明資料として出せる物がなかった。京都のように公表してくれると大変助かる。また、旅行社の添乗員も詳しい対応は把握しておらず、発熱者が出てから保健所や病院に電話で確認をとって初めて分かることだらけであった。

丁寧な対応に感謝しています。

Go to キャンペーンの適用について、もう少し詳しい説明が頂きたかったです。適用額等がよくわからないまま修学旅行を実施する流れになったので、保護者への説明も出来なかった。バスでの行程にになったが、時間に余裕を持って計画したし、乗務員(四台とも)さんも親切な方だった。

旅行会社には、打ち合わせから感染症対策に至るまで、手厚い配慮をいただいた。こちらの要望に応じてくれ、きめ細かな計画をもらった。

旅行会社には、数多くの変更に細かく対応していただき感謝しています。各機関の感染対策のネット上での公開。

添乗員はよく気を配り、こちらの要望にも快く対応してくれた。

旅行会社においては、Go Toトラベル等、政府の動きも見ながらの対応で、大変ご苦労されたと推察します。その中で、誠実に対応いただいたが、コロナ下での在宅勤務により、担当者と連絡が取りにくい状況があり、計画が進みにバス会社も感染対策に協力していただいた。

変更や何度も相談にのってくれ、旅行業者の対応はとても良かった。

連合加入校における新幹線利用の時間を柔軟に対応してほしい。

2度目の変更からは期間が短かったが、迅速で丁寧な対応をして頂き当日も安心して行くことができた。

貸切バスの運転手が大変親切だった。

急な変更ではあったが、要望に見合ったすばらしいコース・プランを提示していただいた。

旅行会社は、日程や行先、感染症対応など急な変更やたくさんの要望等にもかかわらず対応してくれた。

貸切バスのため、安全に配慮して対応してくれたので、問題はなかった。

食事や宿泊場所について親身に相談にのってくれました。ありがたかったです。

旅行会社の「トラベルワールド」は、何度かの変更があったが誠実に対応してくれたので、感謝しています。

旅行会社は度重なる変更にも迅速かつ誠実に対応してくれ、細かな配慮をしてくれた。

急な変更に対して、何度も学校まで来てくれて対応してくれた。

前日の天候の問題に対しても、案を出して頂いた。お世話になりました。

変更が度重なったが、丁寧に対応していただいた。

最寄り駅から遠方ゆえ、途中駅でのロスタイムが長すぎると、家庭からの出発時間が早くなり過ぎて、どうしても生徒や家族の負担が重くなってしまう。

参加人数が少ないゆえ、もっと特急列車の選択について乗客である学校側の希望に添う対応をお願いしたい。

旅行会社・・・2度に渡る行き先変更についても、丁寧に対応してくださった。

JRに・・・九州方面も集約列車を運行してほしい。

少人数の学校では、貸し切りバス代の一人当たりの金額が高くなりすぎるのが、一番の問題でした。東京なら、地下鉄等の利用で対応できていました。

無事に旅行できるようサポートしていただいた。

今回は、例年とは違う段取りを組まなければならないということから、旅行会社ももっと迅速に対応してほしい。特に、県内での旅行でもあったのだが、見学場所への提案等不十分な対応であった。

JRについても、日程を変更しても旅行団としていけるのかどうかの返事が遅く、変更への対応が難しかった。このような状況でもあるので、早く判断し、学校として対応できるようにしてほしい。現在も来年度どうすることができるのか不確定のままだが、すでに変更するのであれば対応し始めないと変更することができない状況である。不測の事態への対応を迅速に日程変更になると割引等なくなるのが問題だと思う。

特に今回のように感染症で日本社会が混乱しているのに、予定とおりにいけないのはみなおなじなので、臨機応変に、していただきたい。

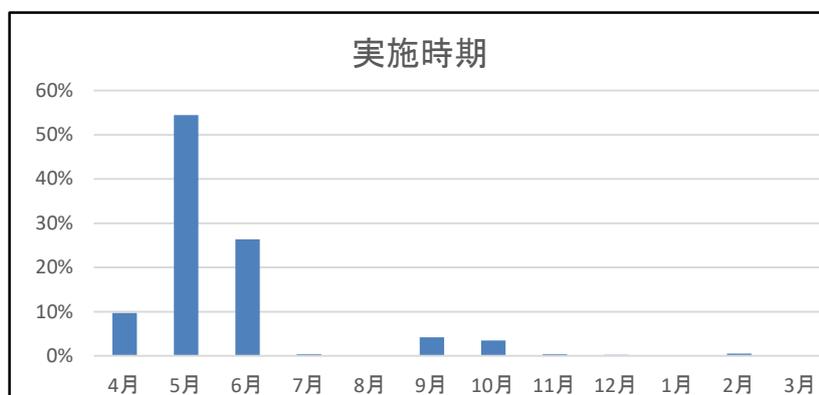
## 2. 2021 (R3) 年度 実施計画について (2021/1月現在)

### 1-(1) 旅行実施時期について

(単位:校数)

出発月	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	構成比
4月	4	1	41	3	7	3	43	6		108	9.7%
5月	101	82	153	60	58	36	9	60	46	605	54.5%
6月	115	39	37	11	13	21	19	24	14	293	26.4%
7月	1	1				1		1		4	0.4%
8月										0	0.0%
9月	11	2	9	8		2	7		8	47	4.2%
10月	5		1		2		6	2	23	39	3.5%
11月					1				3	4	0.4%
12月	1							1	1	3	0.3%
1月						1				1	0.1%
2月	3				2			1		6	0.5%
3月					1					1	0.1%
合計	241	125	241	82	84	64	84	95	95	1,111	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません



### 1-(2) 旅行実施方面について

(単位:校数)

方面	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	和歌山県	総計	比率	
北海道	1			1	1			1		4	0.4%	
東北	1				1		1			3	0.3%	
関東・富士・伊豆	12	5	60	9	14	6	18	6	66	196	17.6%	
信州	45	22	10	1	16	17	7	7		125	11.2%	
北陸・信越・東海	23	22	7	17	3	2	7	4	4	89	8.0%	
中国・四国	43	62	13	12	14	9	10	22	6	191	17.2%	
北九州	42	10	70	3	21	12	8	6		172	15.5%	
南九州	1	2	4	3				2	1	7	20	1.8%
沖縄	62	2	64	14	11	17	21	43	5	239	21.5%	
近畿圏	9	1	11	20	2	1	7	5	4	60	5.4%	
その他	2		2	2	1		3			13	1.2%	
総計	241	126	241	82	84	64	84	95	95	1,112	100.0%	

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

